

資 料 編

- | | |
|-------|------------|
| I | 用語の解説 |
| II | 関係法令・条例等 |
| III | 大村市の現況 |
| IV | 災害統計資料等 |
| V | 各種通信設備の状況等 |
| VI | 関係機関等 |
| VII | 情報（伝達）系統 |
| VIII | 指定避難所等 |
| IX | 災害備蓄品等 |
| X | 危険箇所等 |
| X I | 様式類 |
| X II | 県に対する報告・要領 |
| X III | 各種協定一覧 |

I 用語の解説

第1 略式名称

- 1 災対法：災害対策基本法
- 2 救助法：災害救助法
- 3 土砂災害防止法：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律
- 4 県防災計画：長崎県地域防災計画
- 5 市防災計画：大村市地域防災計画
- 6 県災害対策本部：長崎県災害対策本部
- 7 県地方本部：長崎県災害対策地方本部
- 8 県央災対本部：県央地域広域市町村圏組合災害対策本部
- 9 市災害対策本部（長）：大村市災害対策本部（長）
- 10 水防計画：大村市水防計画
- 11 水防本部：大村市水防本部

第2 地域防災計画関連

1 防災基本計画

災害対策基本法第34条に基づき中央防災会議が作成する防災分野の最上位計画で、防災体制の確立、防災事業の促進、災害復興の迅速適切化、防災に関する科学技術及び研究の振興、防災業務計画及び地域防災計画において重点をおくべき事項について、基本的な方針を示したもの

2 防災業務計画

災害対策基本法（第36条から39条）に基づき、国の防災基本計画に基づき、指定行政機関の長はその所掌事務に関し、指定公共機関はその業務に関し、それぞれが作成する防災に関する計画

3 指定地方行政機関

災害対策基本法第2条第4号の規定により、内閣総理大臣が指定した国の地方行政機関
【市が関係する機関】

大村警察署、九州総合通信局、福岡財務支局長崎財務事務所、九州厚生局長崎事務所、長崎労働局、九州農政局長崎支局、長崎森林管理署、九州地方整備局長崎河川国道事務所、九州運輸局長崎陸運事務所、大阪航空局長崎空港事務所、長崎地方气象台、佐世保海上保安部

4 指定公共機関

災害対策基本法第2条第5号の規定により、独立行政法人、公的機関、公益的事業を営む法人で、内閣総理大臣が指定するもの

【市が関係する法人・機関等】

日本銀行長崎支店、日本赤十字社長崎支部、日本放送協会長崎放送局、長崎高速道路事務所、九州旅客鉄道長崎支社（大村駅）、西日本電信電話長崎支店、大村郵便局、日本通運長崎支店、九州電力送配電株式会社大村配電事業所、長崎県トラック協会大村支部

5 指定地方公共機関

災害対策基本法第2条第6号の規定により、地方独立行政法人、港務局、公共的施設の管理者、電気、ガス、通信等の公益的事業を営む法人のうち、長崎県知事が指定するもの

【市が関係する機関】

九州ガス株式会社大村支店、報道機関、大村市医師会、大村東彼歯科医師会、長崎県看護協会県央支部、長崎県LPガス協会大村支部

6 国土強靱化

どのような災害が発生しても、被害を最小限に抑え、迅速に復旧・復興できる、強さとしなやかさを備えた国土・地域・経済社会を構築すること。

第二次安倍内閣の主要政策の一つ。（ナショナルレジリエンス）

7 津波災害警戒区域

津波が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあり、津波による人的被害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべきとして都道府県知事が指定した土地の区域

8 土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、警戒避難体制を特に整備すべき区域として都道府県知事が指定した区域

9 土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊等が発生した場合には建築物に損壊が生じ、住民に大きな被害が生じるおそれがあるとして、一定の開発行為の制限及び建築物の構造の規制をすべき地域として都道府県知事が指定した区域

10 要配慮者

高齢者、障がい者、妊産婦、外国人、乳幼児等防災施策において特に配慮を要する者

11 避難行動要支援者

要配慮者の中で、下肢や視覚などの障がい、一人での避難行動に支障がある人、一人暮らしの高齢者など自ら避難することが困難な者あるいは避難に相当の時間がかかる者

12 避難行動要支援者名簿

災害時に自力避難が困難な高齢者や障がい者などを対象として、避難の支援、安否確認等必要な措置を実施するため、災害時は本人の了承を得ることなく、防災機関等避難支援を行う者と自治体が情報共有を図ることができる自治体が作成する名簿

13 避難支援等関係者

消防署、消防団、警察、民生委員、社会福祉協議会、自主防災組織その他の避難支援等の実施に携わる者

14 ハザードマップ

自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図

15 指定緊急避難場所

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として、洪水や津波など異常な現象の種類ごとに安全性等の一定の基準を満たす施設又は場所で市町村長が指定したもの

16 指定避難所

避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでの必要な間滞在させ、又は災害により家に戻れなくなった住民等を一定期間滞在させるための施設として市町村長が指定した施設

【指定の条件】

- ・被災者等を滞在させるために必要かつ適切な規模のものであること。
- ・速やかに、被災者等を受け入れ、又は生活関連物資を配布することが可能なものであること。
- ・想定される災害の影響が比較的少ない場所にあること。
- ・車両などによる輸送が比較的容易な場所にあること。

* 高齢者、障がい者、乳幼児等の要配慮者を滞在させる福祉避難所等については、以下の条件も満たすことが必要

- ・要配慮者の円滑な利用を確保するための措置が講じられていること。
- ・災害時に要配慮者が相談し、支援を受けることができる体制が整備されること。
- ・災害時に主として要配慮者を滞在させるために必要な居室が可能な限り確保されること。

17 高齢者等避難

警戒レベル3 高齢者等避難は、災害が発生するおそれがある状況、即ち災害リスクのある区域等の高齢者等が危険な場所から避難すべき状況において、市長が必要と認める地域の市民等に対し発令する情報である。

18 避難指示

警戒レベル4 避難指示は、災害が発生するおそれが高い状況、即ち災害リスクのある区域等の市民等が危険な場所から避難すべき状況において、市長が必要と認める地域の市民等に対し発令する情報である。

19 緊急安全確保

警戒レベル5 緊急安全確保は、災害が発生又は切迫している状況、即ち市民等が身の安全を確保するために立退き避難することがかえって危険であると考えられる状況において、いまだ危険な場所にいる市民等に対し、指定緊急避難場所等への「立退き避難」を中心とした避難行動から、「緊急安全確保」を中心とした行動へと行動変容するよう市長が特に促したい場合に、必要と認める地域の市民等に対し発令する情報である。

20 屋内での待避等の安全確保措置（屋内待機指示）

避難時の状況により、避難所等に避難を行なうことがかえって危険を伴う等やむを得ない場合は、当該地区の居住者等に対し、屋内での待機等の安全確保措置を促すこと。

（1階部分から2階部分へ避難することなども含む。）

21 地区防災計画

「自助」・「共助」の精神に基づき、地域住民が地区の特性に応じ、自発的な防災活動を推進するため、共同して作成する防災活動に関する計画

（市の防災会議に提案し、防災会議で審議され評価された場合は、市の防災計画に掲載することができる。）

22 D M A T

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム

災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）の頭文字をとって略してDMAT（ディーマット）

23 D M O R T

医師（精神科医、歯科医師）、看護師などで構成され、大規模災害時等に、遺族だけでなく、救援者の心のケアを行うチーム

災害時遺族支援チーム（Disaster Mortuary Operational Response Team）の頭文字をとって略してDMORT（ディモルト、ディモート）

24 罹災証明書

被災者生活再建支援金の支給や住宅の応急修理、義援金の配分等の支援措置の適用の判断材料として活用するなど、被災者支援の適切かつ円滑な実施を図るため、災害により被災し

た住宅（門扉、家財道具等は含まない）について、その被害の程度を証明するもの（民事上の権利義務関係には効力を有しない。）

25 被災者台帳

災害時の被災者の被災援護に関する業務の漏れをなくし、公平、効率的に業務を実施するため、被災者の被害状況、支援の実施状況、支援にあたっての配慮事項等を一元的に集約し、関係部署において共有・活用するために作成する台帳

26 緊急時防護措置を準備する区域（UPZ）

緊急時に避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等が必要とされる防災対策の重点区域で、原子力発電所から概ね半径30km以内の範囲の区域

UPZとは、Urgent Protective action Planning Zone の略、2011年（平成23年）11月に原子力安全委員会（現 原子力規制委員会）における専門部会防災指針検討ワーキンググループが示した「原子力発電所に係る防災対策を重点的に充実すべき地域に関する考え方」の文中にて、従来用いられていたEPZ（緊急時計画区域のことで、原子力発電所からの距離およそ8～10kmの範囲）に代わり用いられるようになった概念

27 トリアージ

救急医療の現場で使われる言葉で、大きな災害や事故などが発生した際に、重症度や治療の緊急性などに基づいて治療の優先順位を決定し、搬送・治療にあたることを指す。

特に、大規模災害が発生した場合などでは、医療資源をはるかに超えた負傷者が発生するため、最大限の救命をおこなうために「トリアージ」の考え方が重要となる。

第3 水防計画関連

1 水防管理団体

水防の責任を有する市町村又は水防に関する事務を共同に処理する水防事務組合若しくは水害予防組合

2 水防管理者

水防管理団体である市町村の長又は水防事務組合の管理者若しくは水害予防組合の管理者

3 量水標管理者

量水標、験潮儀その他の水位観測施設の管理者

4 水防警報

国土交通大臣または都道府県知事が、洪水、津波又は高潮により国民経済上重大又は相当な損害が生じるおそれがあると認めて指定した河川、湖沼、海岸について、洪水、津波又は高潮によって災害が起こるおそれがあるとき水防を行う必要がある旨を警告して行う発表

5 水防団待機水位（通報水位）

量水標の設置されている地点ごとに都道府県知事が定める水位で、水防機関が水防体制に入る水位

6 氾濫注意水位（警戒水位）

水防団待機水位（通報水位）を超える水位であって、洪水又は高潮による災害の発生を警戒すべきものとして都道府県知事が定める水位（水防団出動の目安）

7 避難判断水位

市町村長の避難準備・高齢者等避難開始発表の目安となる水位で、住民の氾濫に関する情報への注意喚起となる水位

8 氾濫危険水位

洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫の起こるおそれがある水位で、市町村長の避難指示等の発令判断の目安となる水位

Ⅱ 関係法令・条例等

1 災害対策基本法関係条文抜粋

(基本理念)

第二条の二 災害対策は、次に掲げる事項を基本理念として行われるものとする。

- 一 我が国の自然的特性に鑑み、人口、産業その他の社会経済情勢の変化を踏まえ、災害の発生を常に想定するとともに、災害が発生した場合における被害の最小化及びその迅速な回復を図ること。
- 二 国、地方公共団体及びその他の公共機関の適切な役割分担及び相互の連携協力を確保するとともに、これと併せて、住民一人一人が自ら行う防災活動及び自主防災組織（住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織をいう。以下同じ。）その他の地域における多様な主体が自発的に行なう防災活動を促進すること。
- 三 災害に備えるための措置を適切に組み合わせて一体的に講ずること並びに科学的知見及び過去の災害から得られた教訓を踏まえて絶えず改善を図ること。
- 四 災害の発生直後その他必要な情報を収集することが困難な時であっても、できる限りの確に災害の状況を把握し、これに基づき人材、物資その他の必要な資源を適切に配分することにより、人の生命及び身体を最も優先して保護すること。
- 五 被災者による主体的な取組を阻害することのないよう配慮しつつ、被災者の年齢、性別、障がいの有無その他の被災者の事情を踏まえ、その時期に応じて適切に被災者を援護すること。
- 六 災害が発生したときは、速やかに、施設の復旧及び被災者の援護を図り、災害からの復興を図ること。

(市町村の責務)

第五条 市町村は基本理念にのっとり、基礎的な地方公共団体として、当該市町村の地域並びに当該市町村の住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、関係機関及び他の地方公共団体の協力を得て、当該市町村の地域に係る防災に関する計画を作成し、及び法令に基づきこれを実施する責務を有する。

- 2 市町村長は、前項の責務を遂行するため、消防機関、水防団その他の組織の整備並びに当該市町村の区域内の公共団体その他の防災に関する組織及び自主防災組織の充実を図るほか、住民の自発的な防災活動の促進を図り、市町村の有する全ての機能を十分に発揮するよう努めなければならない。

3 略

(指定公共機関及び指定地方公共機関の責務)

第六条 指定公共機関及び指定地方公共機関は、基本理念にのっとり、その業務に係る防災に関する計画を作成し、及び法令に基づきこれを実施するとともに、この法律の規定による国、都道府県及び市町村の防災計画の作成及び実施が円滑に行われるように、その業務について、当該都道府県又は市町村に対し、協力する責務を有する。

2 略

(市町村防災会議)

第十六条 市町村に当該市町村の地域に係る地域防災計画を作成し、及びその実施の推進するほか、市町村長の諮問に応じて当該市町村の地域に係る防災に関する重要事項を審議するため、市町村防災会議を置く。

2～5 略

6 市町村防災会議の組織及び所掌事務は、都道府県防災会議の組織及び所掌事務の例に準じて、当該市町村の条例で定める。

(市町村災害対策本部)

第二十三条の二 市町村の地域について災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合において、防災の推進を図るため必要があると認めるときは、市町村長は、市町村地域防災計画の定めるところにより、災害対策本部を設置することができる。

2 市町村災害対策本部の長は、災害対策本部長とし、市町村長をもって充てる。

3 市町村災害対策本部に、市町村災害対策副本部長、市町村災害対策本部員その他の職員を置き、当該市町村の職員又は当該市町村の区域を管轄する消防長若しくはその指名する消防吏員のうちから、当該市町村の市町村長が任命する。

4 市町村災害対策本部は、市町村地域防災計画の定めるところにより、次に掲げる事務を行う。この場合において、市町村災害対策本部は、必要に応じ、関係指定地方行政機関、関係地方公共団体、関係指定公共機関及び関係指定地方公共機関との連携の確保に努めなければならない。

一 当該市町村の地域に係る災害に関する情報を収集すること。

二 当該市町村の地域に係る災害予防及び災害応急対策を的確かつ迅速に実施するための方針を作成し、並びに当該方針に沿って災害予防及び災害応急対策を実施すること。

5 市町村長は、市町村地域防災計画の定めるところにより、市町村災害対策本部に、災害地にあつて当該市町村災害対策本部の事務の一部を行う組織として、市町村現地対策本部を置くことができる。

6 市町村災害対策本部長は、当該市町村の教育委員会に対し、当該市町村の地域に係る災害予防又は災害応急対策を実施するため必要な限度において、必要な指示をすることができる。

7 前条第七項の規定は、市町村災害対策本部長について準用する。この場合において、同項中「当該都道府県の」とあるは、「当該市町村の」と読み替えるものとする。

8 前各項に規定するもののほか、市町村災害対策本部に関し必要な事項は、市町村の条例で定める。

(市町村地域防災計画)

第四十二条 市町村防災会議は、防災基本計画に基づき、当該市町村の地域に係る市町村地域防災計画を作成し、及び毎年市町村地域防災計画に検討を加え、必要があると認めるときは、これを修正しなければならない。この場合において、当該市町村地域防災計画は、防災業務計画又は市町村を包括する都道府県地域防災計画に抵触するものであってはならない。

2 市町村地域防災計画は、おおむね次に掲げる事項について定めるものとする。

一 当該市町村の地域に係る防災に関し、当該市町村及び当該市町村の区域内の公共的団体その他防災上重要な施設の管理者の処理すべき事務又は業務の大綱

- 二 当該市町村の地域に係る防災施設の新設又は改良、防災のための調査研究、教育及び訓練その他の災害予防、情報の収集及び伝達、災害に関する予報又は警報の発令及び伝達、避難、消火、水防、救難、救助、衛生その他の災害応急対策並びに災害復旧に関する事項別の計画
- 三 当該市町村の地域に係る災害に関する前号に掲げる措置に要する労務、施設、設備、物資、資金等の整備、備蓄、調達、配分、輸送、通信等に関する計画
- 3 市町村防災会議は、市町村地域防災計画を定めるにあたっては、災害が発生した場合において当該市町村等が円滑に他の者の応援を受け、又は他の者を応援することができるよう配慮するものとする。
- 4 市町村防災会議は、第一項の規定により市町村地域防災計画を作成し、又は修正したときは、速やかにこれを都道府県知事に報告するとともに、その要旨を公表しなければならない。
- 5 都道府県知事は、前項の規定により市町村地域防災計画について報告を受けたときは、都道府県防災会議の意見を聴くものとし、必要があると認めるときは、当該市町村防災会議に対し、必要な助言又は指示をすることができる。
6. 7 略

2 大村市災害対策本部条例

(趣 旨)

第1条 この条例は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第23条の2第8項の規定に基づき、大村市災害対策本部（以下「災害対策本部」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(組 織)

第2条 災害対策本部長は、災害対策本部の事務を総括し、所部の職員を指揮監督する。

2 災害対策副本部長は、災害対策本部長を助け、災害対策本部長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 災害対策本部員は、災害対策本部長の命を受け、災害対策本部の事務に従事する。

(部)

第3条 災害対策本部長は、必要と認めるときは、災害対策本部に部を置くことができる。

2 部に属すべき災害対策本部員は、災害対策本部長が指名する。

3 部に部長を置き、災害対策本部長の指名する災害対策本部員がこれに当たる。

4 部員は部の事務を掌理する。

(現地災害対策本部)

第4条 現地対策本部に現地災害対策本部長及び現地災害対策本部員その他の職員を置き、災害対策副本部長、災害対策本部員その他の職員のうちから災害対策本部長が指名するものをもって充てる。

2 現地災害対策本部長は、現地災害対策本部の事務を掌理する。

(雑 則)

第5条 この条例に定めるもののほか、災害対策本部に関し必要な事項は、災害対策本部長が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成8年3月25日条例第3号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年9月24日条例第19号)

この条例は、公布の日から施行する。

3 大村市防災会議条例

(趣 旨)

第1条 この条例は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第16条第6項の規定に基づき、大村市防災会議（以下「防災会議」という。）の所掌事務及び組織を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 防災会議は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 大村市地域防災計画を作成し、及びその実施を推進すること。
- (2) 市長の諮問に応じて市の地域に係る防災に関する重要事項を審議すること。
- (3) 前号に規定する重要事項に関し、市長に意見を述べること。
- (4) 水防計画その他水防に関し重要な事項を調査審議すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、法律又はこれに基づく政令によりその権限に属する事務。

(会長及び委員)

第3条 防災会議は、会長及び委員をもって組織する。

2 会長は、市長をもって充てる。

3 会長は、会務を総理する。

4 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

5 委員の定数は42人以内とし、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 指定地方行政機関の職員のうちから市長が任命する者
 - (2) 長崎県の知事の部内の職員のうちから市長が任命する者
 - (3) 長崎県警察の警察官のうちから市長が任命する者
 - (4) 市長がその部内の職員のうちから指名する者
 - (5) 教育長
 - (6) 大村消防署長及び消防団長
 - (7) 指定公共機関又は指定地方公共機関の職員のうちから市長が任命する者
 - (8) 関係団体の代表者
 - (9) 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから市長が任命する者
- 6 前項第7号から第9号までの委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、その前任者の在任期間とする。

7 前項の委員は、再任されることができる。

(専門委員)

第4条 防災会議に、専門の事項を調査させるため、専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、関係地方行政機関の職員、長崎県の職員、市の職員、関係指定公共機関の職員、関係指定地方公共機関の職員及び学識経験のあるもののうちから、市長が任命する。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

(議事等)

第5条 この条例に定めるもののほか、防災会議の議事その他防災会議の運営に関し必要な事項は会長が防災会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

- 2 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年大村市条例第17号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう省略〕

附 則（昭和40年3月29日条例第11号）

この条例は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則（昭和47年3月21日条例第6号）

この条例は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則（平成7年3月22日条例第6号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成11年12月22日条例第22号）抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月22日条例第10号）

この条例は、公布の日から施行する。

4 大村市防災会議委員名簿

会長 大村市長 園田 裕史

委員別	機 関 職 名	氏 名
1 号 委 員	長崎森林管理署長	黒 木 興 太 郎
	九州農政局長崎県拠点 総括農政業務管理官	志 牟 田 敏 弘
	陸上自衛隊第16普通科連隊 第4中隊長	永 瀬 智 弘
2 号 委 員	長崎県県央振興局長	井 手 美 都 子
	長崎県県央保健所長	藤 田 利 枝
3 号 委 員	大村警察署長	松 尾 邦 仁
4 号 委 員	大村市副市長	山 下 健 一 郎
	大村市総務部長	高 取 和 也
	大村市産業振興部長	浦 山 優
	大村市都市整備部長	嶋 原 純 治
5 号 委 員	大村市教育長	遠 藤 雅 己
6 号 委 員	大村消防署長	平 野 真 也
	大村市消防団長	田 中 研 太 郎
7 号 委 員	九州電力送配電株式会社 大村配電事業所長	遠 山 正 彦
	長崎県交通局 大村営業所長	山 本 秀 則
	(株)NTT フィールドテクノ九州支店長崎設備部長	林 田 宏 之
	(一社) 大村市医師会会長	田 崎 賢 一
	九州ガス (株) 大村支店長	梅 澤 成 朗
	(一社) 長崎県建設業協会大村支部事務局長	宮 脇 保 信
	(公社) 長崎県トラック協会大村支部長	村 里 宏 治
	日本放送協会長崎放送局コンテンツセンター長	真 野 裕 也
	長崎放送 (株) 取締役報道メディア局長	下 田 智 行
	(一社) 長崎県LPガス協会大村支部長	甲 斐 伸 高
	西日本高速道路 (株) 九州支社長崎高速道路事務所長	桑 原 和 之
8 号 委 員	大村市農業委員会長	田 添 利 弘
	長崎県央農業協同組合大村中央専任課長	中牟田 かずみ
	長崎南部森林組合大村支所長	吉 村 健 一
	大村市漁業協同組合代表理事組合長	松 尾 貢
	郡川水利組合会長	後 藤 満 行
	大村市町内会長会連合会会長	織 方 五 郎

委 員 別	機 関 職 名	氏 名
8 号 委 員	(株) F Mおおむら代表取締役	川 添 友紀子
	介護老人保健施設うぐいすの丘施設長	一 瀬 休 生
	(福) 大村市社会福祉協議会	福 田 由美子
	(公社) 長崎県獣医師会大村支部長	渡 邊 方 親
	(一社) 大村東彼薬剤師会理事	諏 訪 晴 之
9 号 委 員	学識経験者	中 村 鷹 春
		西 すみ子
		中 島 寿 子
	自主防災組織	山 下 純 治
		田 中 平

Ⅲ 大村市の現況

1 人口動態

(単位：人)

年次別	増							減							動態増減
	総数	出 生			転 入			総数	死 亡			転 出			
		計	男	女	計	男	女		計	男	女	計	男	女	
R01	5, 823	888	444	444	4, 935	2, 706	2, 229	5, 189	869	412	457	4, 320	2, 426	1, 894	634
R02	5, 803	904	459	445	4, 899	2, 768	2, 131	5, 430	916	467	449	4, 514	2, 551	1, 963	373
R03	5, 803	881	434	447	4, 922	2, 774	2, 148	5, 315	1, 003	493	510	4, 312	2, 488	1, 824	488
R04	5, 816	870	433	437	4, 946	2, 758	2, 188	5, 335	987	470	517	4, 348	2, 488	1, 860	481
R05	5, 738	829	434	395	4, 909	2, 804	2, 105	5, 385	1, 019	504	515	4, 366	2, 468	1, 898	353

2 消防・水防関連組織・施設

(1) 大村消防署

	配 備 人 員	配 備 車 両 (両)						
		ポンプ車	タンク車	工作車	梯子車	化学車	救急車	その他
本 署	41名	2(1)	1	1	1	1	2(1)	5
宮小路分署	12名	1					1	1
久原分署	12名	1					1	1
合 計	65名	4(1)	1	1	1	1	4(1)	7

* () 数は非常用を再掲

(2) 郡川水防予防組合

組合長理事	副組合長理事	理 事	監 事	関係戸数
後 藤 満 行	前 川 與	高 月 博	上 本 一 清 秋 津 實	919戸
		尾 崎 国 洋		
		峠 学		

(3) 消防団

ア 編 成

団 本 部

団 長	
副 団 長	4 人
本部分団長	8 人
女性消防団	18 人

第 1 分 団	20 人	詰所：1	分駐所：1
第 2 分 団	18 人	詰所：1	
第 3 分 団	25 人	詰所：1	
第 4 分 団	18 人	詰所：1	分駐所：1
第 5 分 団	20 人	詰所：1	
第 6 分 団	36 人	詰所：1	
第 7 分 団	33 人	詰所：1	
第 8 分 団	33 人	詰所：1	
第 9 分 団	33 人	詰所：1	
第 10 分 団	36 人	詰所：1	
第 11 分 団	47 人	詰所：1	分駐所：1
第 12 分 団	46 人	詰所：1	分駐所：4
第 13 分 団	69 人	詰所：1	分駐所：3
第 14 分 団	60 人	詰所：1	分駐所：2
第 15 分 団	33 人	詰所：1	分駐所：1

イ 消防車等

分 団 名	車 両 等	購 入 年 月 日	更 新 年 度
団 本 部	指令車	令和 2 年 1 2 月 1 6 日	令和 2 3 年度
	資機材運搬車	令和 2 年 3 月 2 5 日	令和 2 2 年度
第 1 分団	消防ポンプ車	平成 3 0 年 2 月 1 0 日	令和 9 年度
	小型動力ポンプ積載車	平成 1 8 年 2 月 1 3 日	令和 7 年度
	可搬小型動力ポンプ	令和 2 年 2 月 1 3 日	令和 2 2 年度
第 2 分団	消防ポンプ車	令和 2 年 1 月 3 0 日	令和 2 1 年度
	可搬小型動力ポンプ	平成 3 0 年 2 月 2 1 日	令和 1 9 年度
第 3 分団	消防ポンプ車	平成 2 5 年 1 2 月 6 日	令和 1 5 年度
第 4 分団	消防ポンプ車	平成 2 7 年 3 月 1 7 日	令和 1 6 年度
	小型動力ポンプ積載車	平成 2 4 年 3 月 5 日	令和 1 3 年度
	可搬小型動力ポンプ No1	平成 3 0 年 2 月 2 1 日	令和 1 9 年度
	可搬小型動力ポンプ No2	令和 2 年 2 月 1 3 日	令和 2 2 年度
	可搬小型動力ポンプ No3	平成 1 2 年 3 月 2 1 日	令和 2 4 年度
第 5 分団	消防ポンプ車	令和 4 年 4 月 2 1 日	令和 2 4 年度
第 6 分団	消防タンク車	平成 2 8 年 2 月 1 5 日	令和 1 7 年度
第 7 分団	消防ポンプ車	平成 9 年 1 1 月 2 5 日	令和 2 0 年度
第 8 分団	消防ポンプ車	平成 2 4 年 1 1 月 2 9 日	令和 1 4 年度
第 9 分団	消防ポンプ車	平成 1 3 年 1 1 月 1 9 日	令和 5 年度
第 1 0 分団	消防ポンプ車	平成 1 5 年 1 0 月 6 日	令和 5 年度
	可搬小型動力ポンプ	平成 2 5 年 1 0 月 2 1 日	令和 1 5 年度
第 1 1 分団	消防ポンプ車	平成 2 9 年 3 月 2 7 日	令和 1 8 年度
	小型動力ポンプ積載車	平成 2 2 年 9 月 9 日	令和 1 2 年度
	可搬小型動力ポンプ No1	平成 2 0 年 1 0 月 1 0 日	令和 1 0 年度
	可搬小型動力ポンプ No2	平成 2 2 年 9 月 1 6 日	令和 1 2 年度
第 1 2 分団	消防ポンプ車	平成 1 5 年 1 0 月 1 7 日	令和 5 年度
	小型動力ポンプ積載車 No1	平成 2 5 年 1 1 月 2 0 日	令和 1 5 年度
	小型動力ポンプ積載車 No2	平成 1 1 年 1 月 7 日	令和 2 0 年度
	小型動力ポンプ積載車 No3	平成 2 4 年 3 月 5 日	令和 1 3 年度
	小型動力ポンプ積載車 No4	平成 2 7 年 3 月 1 9 日	令和 1 6 年度
	可搬小型動力ポンプ No1	平成 1 5 年 1 0 月 1 0 日	令和 5 年度
	可搬小型動力ポンプ No2	平成 2 1 年 9 月 2 4 日	令和 1 1 年度
	可搬小型動力ポンプ No3	平成 2 0 年 2 月 1 日	令和 9 年度
	可搬小型動力ポンプ No4	平成 2 7 年 3 月 1 9 日	令和 1 6 年度

分 団 名	車 両 等	購 入 年 月 日	更 新 年 度
第 1 3 分団	消防ポンプ車	令和 2 年 1 2 月 2 3 日	令和 2 3 年度
	小型動力ポンプ積載車 No1	平成 1 8 年 1 2 月 2 1 日	令和 8 年度
	小型動力ポンプ積載車 No2	平成 2 1 年 1 1 月 1 3 日	令和 1 1 年度
	小型動力ポンプ積載車 No3	令和 3 年 3 月 1 7 日	令和 2 3 年度
	可搬小型動力ポンプ No1	平成 2 2 年 1 2 月 8 日	令和 1 2 年度
	可搬小型動力ポンプ No2	平成 2 0 年 2 月 1 日	令和 9 年度
	可搬小型動力ポンプ No3	平成 1 8 年 2 月 8 日	令和 7 年度
	可搬小型動力ポンプ No4	平成 2 8 年 6 月 2 3 日	令和 1 8 年度
第 1 4 分団	消防ポンプ車	平成 3 0 年 2 月 2 1 日	令和 1 9 年度
	小型動力ポンプ積載車 No1	平成 2 3 年 2 月 2 2 日	令和 1 2 年度
	小型動力ポンプ積載車 No2	平成 2 0 年 1 月 2 5 日	令和 9 年度
	可搬小型動力ポンプ No1	平成 2 8 年 6 月 2 3 日	令和 1 8 年度
	可搬小型動力ポンプ No2	平成 2 5 年 3 月 1 日	令和 1 4 年度
	可搬小型動力ポンプ No3	平成 2 0 年 1 0 月 1 0 日	令和 1 0 年度
第 1 5 分団	消防ポンプ車	平成 1 3 年 9 月 2 0 日	令和 4 年度
	小型動力ポンプ積載車	平成 2 0 年 1 2 月 1 7 日	令和 1 0 年度
	可搬小型動力ポンプ No1	平成 2 7 年 3 月 2 5 日	令和 1 6 年度
	可搬小型動力ポンプ No2	平成 2 2 年 1 2 月 8 日	令和 1 2 年度

ウ 資機材一覧 (分団配置基準)

	団本部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	第9分団	第10分団	第11分団	第12分団	第13分団	第14分団	第15分団	合計
		(11)	(6)	(6)	(11)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(11)	(26)	(21)	(16)	(11)	
通信機材	トランシーバー (各車両5台+分団長)	9 (11)	6 (6)	6 (6)	9 (11)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	9 (11)	19 (26)	16 (21)	13 (16)	9 (11)	145 (168)
	無線受令機 (各車両×1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	5 (5)	4 (4)	3 (3)	2 (2)	30 (30)
消火機材	ホース (各車両×20本)	24 (40)	20 (20)	19 (20)	38 (40)	19 (20)	25 (20)	27 (20)	20 (20)	20 (20)	20 (20)	40 (40)	92 (100)	60 (80)	55 (60)	40 (40)	519 (560)
	とび口 (各車両×2本)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	7 (4)	2 (2)	4 (2)	2 (2)	6 (2)	2 (2)	7 (4)	5 (4)	10 (10)	4 (8)	7 (6)	9 (4)	73 (58)
	可搬式散水装置 (山林地区を管轄する分団に3台) *10・15分団は各10	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	10 (10)	36 (38)
	組立式水槽	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	13 (15)
	担架	2 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (1)	3 (1)	1 (1)	2 (1)	23 (15)
救助機材	チェーンソー (各車両×2台)	3 (4)	2 (2)	2 (2)	3 (4)	2 (2)	3 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (4)	6 (10)	5 (8)	4 (6)	4 (4)	45 (56)
	拡声器 (各車両×2台)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (2)	2 (5)	3 (4)	1 (3)	1 (2)	19 (28)
	投光器(発電機型) (各車両×1台)	1 (2)	1 (1)	3 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (2)	4 (5)	6 (4)	3 (3)	4 (2)	38 (28)
	投光器(充電式型) (各車両×2台)	3 (4)	2 (2)	2 (2)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (2)	4 (4)	8 (10)	7 (8)	6 (6)	4 (4)	53 (56)
	発電機 (各車両×1台)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	5 (2)	4 (5)	4 (4)	3 (3)	2 (2)	30 (28)
備考	・各分団；上段の数：配備数、下段の()数：配置基準　・安全確保のための個人用装備(安全帽、安全靴、手袋等) 除く																

(4) 消火栓・防火水槽等

地 区 区 分	消 火 栓			防火水槽 () は公設			その他の水利		
	公 設	その他	計	40t 以上	40t 未 満	計	プール	その他	計
大村三城(1～5分団)	440	12	452	46 (29)	8 (5)	54(34)	6	16	22
西大村 (6～7分団)	307	11	318	39 (18)	7 (6)	46(24)	6	3	9
竹 松 (8～9分団)	249	0	249	22 (14)	17(17)	39(31)	2	2	4
萱 瀬 (10分団)	33	2	35	16 (15)	4 (3)	20(17)	1	12	13
福 重 (11分団)	61	1	62	22 (17)	4 (2)	26(19)	1	11	12
松 原 (12分団)	45	1	46	20 (20)	8 (8)	28(28)	0	6	6
三 浦 (13分団)	61	4	65	32 (20)	6 (4)	38(24)	1	18	19
鈴 田 (14分団)	57	0	57	27 (27)	6 (1)	33(28)	1	9	10
田下・黒木(15分団)	39	0	39	17 (17)	2 (2)	19(19)	2	9	11
合 計	1,292	31	1,323	241(177)	62(48)	303(225)	20	86	106

3 医療施設・従事者

(1) 医療施設

病 院		診 療 所		歯 科 診 療 所	保 健 所	感 染 症 病 床	助 産 所	薬 局	施 設 総 数
箇 所 数	病 床 数	箇 所 数	病 床 数						
8(4)	1633(529)	92(75)	150(135)	52	0	4	0	49	201
※ (): 大村市医師会									

(2) 医療従事者

医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	看 護 師	助 産 師	獣 医 師	総 数
415 (94)	70	199	45	1,603	57	40	2,429
※ (): 大村市医師会							

(3) 救急病院

病 院 ・ 医 院 の 名 称	所 在 地	電 話 (0957-)
国立病院機構長崎医療センター（三次救急病院）	久原2丁目1001-1	5 2 - 3 1 2 1
市立大村市民病院（病院群輪番制病院）	古賀島町133-22	5 2 - 2 1 6 1
貞松病院（救急医療協力病院）	東本町537	5 4 - 1 1 6 1

4 避難行動要支援者名簿対象者数

区 分	対象者数（人）
介護認定者（要介護3～5）	9 2 0
身体障害者手帳保有者（1・2級（総合等級）の第一種を保有（心臓、じん臓機能障害のみで該当する者は除く））	6 1 7
療育手帳保有者（A）	2 9 7
精神障害者保健福祉手帳保有者（1級）	7 0
大村市災害時要支援者名簿登録者	2 1 7
合 計	2, 1 2 1

5 地域防災組織

区 分	事業所の防災組織等	自 主 防 災 組 織
組 織 数	7 8 2	9 3（組織率62.1%）
主な装備等	屋内消火栓、ポンプ車等	ヘルメット、ハンドマイク、ロープ

6 危険物施設

(1) 貯蔵施設

区 分	件 数	区 分	件 数
製 造 所	1	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	2 7
屋 内 貯 蔵 所	3 7	屋 外 貯 蔵 所	4
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	2 6	給 油 取 扱 所	5 4
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	8	販 売 取 扱 所	0
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	3 4	一 般 取 扱 所	3 8
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	0		
合 計	2 2 9 件		

(2) 高圧ガス保管施設

区 分	件 数
L P G	8 2 9 件
販売所・充てん所	1 0 件

7 処理施設・機材

市 内	処 理 施 設			し 尿 運 搬 車		ご み 運 搬 車			
	し 尿	可 燃 物	不 燃 物	私 有		公 有		私 有	
	浄 化 槽	焼 却 炉	破 碎 設 備	台 数	積 載 量	台 数	積 載 量	台 数	積 載 量
大 村 市	77kl/日	105t/24H	30t/5H	1 台	1.8kl	1 台 (トラ ック)	4.0t	8 台 (トラッ ク)	2.0t
				1 台	2.7kl	1 台 (パッ カー車)	2.0t	2 台 (パ ッカー車)	3.0t
				5 台	3.0kl	2 台 (軽)	0.3t	5 台 (パ ッカー車)	2.0t
				1 台	3.6kl				
				1 台	10.0kl				

8 車両保有状況

(1) 大村市保有車両

番号	課 名	普通 乗用	普通 貨物	小 型 乗用	軽 乗用	軽 貨 物	消 防 車	塵 芥 車	そ の 他	合計
1	秘書課	2								2
2	企画政策課					2				2
3	安全対策課	1	1			2	28			32
4	男女いきいき推進課				1					1
5	税務課					1				1
6	管財課					5				5
7	契約課	1		3	1	25				30
8	地域げんき課				1	7				8
9	環境保全課					3				3
10	環境センター		1			4		1		6
11	福祉総務課					1				1
12	国保けんこう課					4				4
13	保護課				1	2				3
14	障がい福祉課				2					2
15	長寿介護課					24				24
16	こども家庭課	1			1					2
17	こども政策課				1	4				5
18	こども支援課					3 (リース車2台)				3
19	農林水産振興課					5 (リース車)				5
20	農林水産整備課	1	1 (リース車)			2 (リース車)				4
21	道路管理課			2						2
22	道路整備課	1				5				6
23	河川公園課	1			1	2				4
24	建築課					3 (リース車1台)				3
25	都市計画課	1 (リース車)				1 (リース車)				2
26	企業誘致課					1 (リース車)				1
27	議会事務局	2								2
28	教育総務課								21	21

番号	課 名	普通 乗用	普通 貨物	小型 乗用	軽 乗用	軽 貨物	消 防 車	塵 芥 車	そ の 他	合計
29	教育総務課 (学校給食センター)		1 4			3				1 7
30	社会教育課					3				3
31	文化振興課 (歴史資料館)					2 (リース車1台)				2
32	図書館					2				2
33	新幹線まちづくり課	1				1				2
合 計		1 2	1 7	5	9	1 1 7	28	1	21	210

(2) 大村市内在籍特殊自動車

所 有 者	ナンバー	バックホー		タイヤ ショベル	ダンプトラック		ユニック車
		0.4 m ³ 未満	0.4 m ³ 以上		4t 未満	4t 以上	
(株)池田開発 5 6 - 9 5 6 2	2	1 2	1 1	2	8	1 8	4
(株) エムケン 5 2 - 8 1 7 1		4			3		1
岡山建設(株) 5 3 - 2 1 2 1		0	1				
(株) 檜山組 5 5 - 8 4 6 5		2			3	1	1
梶原実業(株) 5 3 - 9 0 6 8		3	1		1		2
(株) 小森組 5 3 - 3 1 8 1		1			4		
伸 栄 建 設 (株) 5 6 - 2 0 1 0		2			3		
(株) 鈴 木 建 設 5 3 - 8 0 2 2		2	4	2	2	2 2	2
(株) 瀬尾工務店 5 5 - 4 8 2 9					1		
(有)大昭土木 5 5 - 6 2 6 4		5	1		5		

高瀬建設(株) 53-3131		4			4		1
(株)富永工務店 55-8273		1			2		1
(株)平山組 52-2148		2	1		3	1	
(株)富士興産 55-3151		4	1		2	1	1
(株)宮本建設 53-5131							
(株)森工務店 55-7934		2	1		2	2	1
計	2	44	21	4	43	45	14

(3) 管工業組合車両保有台数

ア 2t以上 9台

イ 2t未満 9台

*発電機保有リース会社

会社名	電話番号	所在地	保有状況
中央リース(株)	55-4221	富の原2丁目702	15kw~100w 15台
長崎新リース(株)	53-5483	協和町811	10kw 1台

9 舟艇の状況

(1) 定期船

所有者名	船名	船質	トン	定けい港	旅客定員	速力	備考
安田汽船 K K	オーシャンライナー 7		19.00		97人	27.0	沿岸
	オーシャンライナー 8		19.00		97人	27.0	
	オーシャンライナー 10		19.00		99人	27.0	大村湾

(2) 漁船

総 数		動 力 漁 船				無動力漁船	
		合 計		5 トン未満			
隻 数	トン数	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
9 7	1 4 7 . 2	9 7	1 4 7 . 2	9 7	1 4 7 . 2	0	0

10 大村市斎場

名 称	所 在 地	1 日処理能力	備 考
大村市斎場	徳泉川内町 5 3 5 番地 1 7	4 基 1 6 体	

11 大村市上下水道局の応急給水能力及び備蓄品の状況

携行ポリ容器 (20ℓ)	5 3 個	給水タンク (容量 0.5 m ³)	3 個
携行ポリ容器 (10ℓ)	1 2 6 個	消火栓スタンド	4 個
携行給水袋 (6ℓ)	1 9 2 0 個	小型発電機 (1600VA)	1 台
給水タンク (容量 1.2 m ³)	1 個	小型発電機 (900VA)	2 台
給水タンク (容量 1.0 m ³)	4 個	給水車 (2t タンク積載)	1 台
組立式給水タンク (容量 1.0 m ³)	5 個		

(令和6年4月1日現在)

12 上水道施設

(1) 配水施設 (100 m³以上)

施 設 名	所 在 地	容量 (m ³ /日)
坂 口 第 1 配 水 池	坂口町 1 1 4 4 - 1	7, 5 0 0
坂 口 第 2 配 水 池	坂口町 1 1 4 4 - 1	6, 0 0 0
徳 泉 川 内 配 水 池	東大村 2 丁目 9 9 2 - 9	5, 5 0 0
雄 ケ 原 配 水 池	雄ヶ原町 1 7 6 7 - 1 3 5	3, 0 0 0
池 田 第 1 配 水 池	荒瀬町 1 1 4 4 - 1	2, 0 0 0
鈴 田 配 水 池	大里町 8 3 0 - 1	1, 5 0 0
池 田 第 2 配 水 池	荒瀬町 1 1 4 4 - 1	1, 0 0 0
木 場 配 水 池	木場 1 丁目 9 8 2 - 3	1, 0 0 0
大 多 武 第 1 配 水 池	東大村 1 丁目 2 6 0 7 - 2 5	1, 0 0 0
須 田 ノ 木 配 水 池	須田の木町 8 2 5 - 6	5 0 0
松 原 配 水 池	松原 1 丁目 9 1 4 - 2	5 0 0
諏 訪 配 水 池	上諏訪町 1 5 7 6	5 0 0

水 計 配 水 池	水計町 1 1 1 7 - 2	5 0 0
赤 佐 古 配 水 池	赤佐古町 4 3 9 - 2	5 0 0
祝 崎 配 水 池	陰平町 1 6 7 8	5 0 0
荒 瀬 配 水 池	荒瀬町 8 6 9 - 1 0	3 3 0
高 部 配 水 池	東野岳町 9 4 9 - 7	2 8 2
三 浦 配 水 池	日泊町 1 2 2 9 - 2	2 7 8
琴 平 配 水 池	原町 9 6 7 - 4 0	2 2 5
萱 瀬 配 水 池	中岳町 4 9 - 5	2 1 6
黒 木 配 水 池	黒木町 7 7 0 - 2	1 3 5
野 岳 配 水 池	野岳町 1 8 5 8 - 2	1 1 4
大 多 武 第 2 配 水 池	東大村 1 丁目 2 6 9 3 - 3 3	1 1 2

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

(2) 水源施設 (200 m³/日以上)

施 設 名	所 在 地	能力 (m ³ /日)
【 地 表 水 】		
萱 瀬 ダ ム	黒木町 3 9 2 - 1 地先	1 5, 0 0 0
池 田 貯 水 池	池田 2 丁目 1 2 8 7 - 2	2, 4 5 0
【 地 下 水 】		
立 花 水 源	宮小路 3 丁目 1 0 6 3 - 8	3, 0 8 0
今 富 水 源	竹松町 1 2 7 3 - 6	2, 8 0 0
福 重 水 源	今富町 1 5 2 0 - 5	2, 5 0 0
杭出津水源 (3 水源)	杭出津 2 丁目 1 3 4 2 他	2, 0 8 0
才 福 寺 水 源	皆同町 1 6 8 - 5	1, 9 2 0
鬼 橋 第 2 水 源	鬼橋町 7 6 8 - 1	1, 8 6 0
松 原 水 源	松原本町 4 2 3 - 1	1、6 0 0
寿 古 水 源	寿古町 7 0 2 - 2	1, 5 5 0
富 の 原 第 2 水 源	富の原 2 丁目 2 9 7 - 1	1, 4 0 0
黒 丸 水 源	宮小路 3 丁目 1 9 8 3 - 2	1, 1 0 0
今 富 第 2 水 源	今富町 1 0 9 6 - 7	1, 0 0 0
松 並 水 源	松並 2 丁目 8 8 7	9 0 0
大 多 武 第 6 水 源	東大村 1 丁目 2 6 8 0 - 4 7	7 7 0
鬼 橋 水 源	鬼橋町 1 2 6 0 - 4	5 7 0
日 岳 水 源	日泊町 8 7 4 - 1 0	5 6 0
大 多 武 第 4 水 源	東大村 1 丁目 2 5 2 3 - 3	5 6 0
小 路 口 水 源	小路口本町 3 3 6 - 5	5 0 0
大 多 武 第 5 水 源	東大村 1 丁目 2 6 3 4 - 1	4 0 0
富 の 原 第 1 水 源	富の原 2 丁目 4 1 4 - 1	4 0 0
東 野 岳 2 号 水 源	東野岳町 1 3 6 3 - 2	4 0 0

東野岳2号水源	東野岳町1363-2	400
松原第2水源	松原本町363-15	380
富の原第3水源	富の原1丁目1323-1	300
東野岳1号水源	東野岳町1361-2	230
【予備水源】		
葛城貯水池	鬼橋町1322	750

(令和6年4月1日現在)

1.3 都市計画区域等

(1) 用途地域

区 域			面 積(ha)	構 成 率	
大 村 市 全 域			1 2 , 6 7 3	1 0 0 . 0	
内 訳	都 市 計 画 区 域		5 , 9 9 7	4 7 . 3	
	内 訳	用 途 地 域	2 , 3 4 4	1 8 . 5 (100.0)	
		内 訳	第一種低層住居専用地域	3 6 5	2 . 9 (15.6)
			第一種中高層住居専用地域	1 1 9	0 . 9 (5.1)
			第二種中高層住居専用地域	1 3 3	1 . 0 (5.7)
			第 一 種 住 居 地 域	7 1 4	5 . 6 (30.4)
			準 住 居 地 域	4 7	0 . 4 (2.0)
			近 隣 商 業 地 域	7 0	0 . 6 (3.0)
			商 業 地 域	1 3 3	1 . 0 (5.7)
			準 工 業 地 域	5 5 2	4 . 4 (23.5)
		内 訳	工 業 地 域	1 4 7	1 . 2 (6.3)
工 業 専 用 地 域	6 4		0 . 5 (2.7)		
用 途 地 域 外		3 , 6 5 3	2 8 . 8		
都 市 計 画 区 域 外			6 , 6 7 6	5 2 . 7	

(2) 地域地区指定状況

名 称	指 定 年 月 日	面 積 (h a)
準 防 火 地 域	昭和37年 2月12日	40.10
三 城 風 致 地 区	昭和12年12月14日	11.40
山 田 の 滝 風 致 地 区	昭和12年12月14日	66.00
大 村 港 臨 港 地 区	昭和40年 2月18日	7.70

Ⅳ 災害統計資料等

1 台風の状況

台風発生数・上陸数及び九州北部地方・九州南部・奄美地方への接近数の平均値

項 目 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年 計
発 生 数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
日 本 上 陸 数	—	—	—	—	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	—	—	3.0
九 州 上 陸 数	—	—	—	—	—	0.0	0.2	0.3	0.5	0.1	—	—	1.1
九州北部地方接近数	—	—	—	0.0	0.1	0.3	0.8	1.1	1.1	0.4	—	—	3.8
九州南部接近数	—	—	—	0.0	0.1	0.4	0.7	1.0	1.2	0.5	—	—	3.9
奄美地方接近数	—	—	—	0.0	0.2	0.4	0.7	1.1	1.3	0.7	—	—	4.3

(※1991年～2020年の平均)

▼1951年～2022年の記録

最多発生数：39個（1967年）

最小発生数：14個（2010年）

最多上陸数：10個（2004年）

最小上陸数：0個（2020年、2008年、2000年、1986年、1984年）

最も早い日本上陸：1956年 4月25日 台風第 3号 鹿児島県大隅半島南部

最も遅い日本上陸：1990年11月30日 台風第28号 和歌山県白浜町の南

最も早い九州上陸：1956年 4月25日 台風第 3号 鹿児島県大隅半島南部

最も遅い九州上陸：1998年10月17日 台風第10号 鹿児島県枕崎市付近

※気象庁ホームページ及び九州・山口県防災気象情報ハンドブック 2022 より

2 諫早豪雨 昭和32年7月25日～26日

諫早水害当時、すでに農林省熊本農地事務局が諫早湾干拓事業のために諫早湾周辺の約50地点に雨量観測所を設けていた。この中には大村市の観測所もあり、これらの観測点の網の真ん中に諫早豪雨が入り、1時間ごとの詳細な雨量分布図が得られた。

25日の12時過ぎから26日の午後3時まで最も強い雨が降り、25日22時15分頃諫早市本明川では水位が10分間で150mmも上昇した。

大村市では、25日12時～26日24時まで強雨、25日9時～26日9時までに732mmの降雨量を記録し、降雨量は平野部の700mmを中心に、多良岳方向に400mmまで及び、これにより郡川の下流に広がる扇状地に水があふれ出した。

冠水域は郡川の流域と大村扇状地の全域である。もともと扇状地は郡川が流路を変えることにより発達した地形なので、古い流域が大村市内の各地に残っている。これを辿るように水は広がり、次に鈴田川流域に冠水地域が広がった。また大村市南端の今村から溝陸も冠水している。

大村市の被害状況は、死者19名、床上・床下浸水家屋が10,336棟に及んだ。

【大村市及び近傍地区の被害状況】

	大 村	諫 早	高 来
死者、行方不明	19	539	37
重傷	7	67	8
家屋全壊、流出	56	727	59
家屋半壊	74	575	51
家屋一部損壊	502	919	－
床上浸水	1807	2734	346
床下浸水	8529	675	401
非住家全壊	68	176	94
非住家半壊	25	320	－
公共建物全壊（県市私）	5	15	－
水田流出・埋没・崩壊	260 町歩	420 町歩	261 町歩
畑流出・埋没・崩壊	20 町歩	385 町歩	66 町歩
田畑冠水	1600 町歩	2140 町歩	245 町歩
農道	30km(30 か所)	3.5km(30 か所)	－
農業施設（水路）	20km(208 か所)	25km(125 か所)	－
山林崩壊	121 か所	150 か所(25 町歩)	－
道路（県、市）	156 か所	80 か所	131 か所
橋梁（県、市）	71 か所	44 か所	74 か所
河川	20 か所	147 か所	38 か所
水道		上水 13、簡易 7	
鉄道			1 か所

※1 町歩とは、9,900 m²の広さを表しています。

※新編大村市史より抜粋

3 長崎大水害 昭和 57 年 7 月 23 日～24 日

昭和 57 年 7 月 23 日 16 時 50 分長崎地方に大雨洪水警報が発表されたことに伴い、長崎県に災害警戒本部が設置されると同時に大村市でも災害警戒本部を設置し、警戒にあたった。

長崎地方気象台の記録によると、大村市では 23 日の降り始めから翌 24 日までの総雨量 383 mm を記録し、23 日 20 時までの 1 時間に 68 mm、同 21 時までに 85 mm を記録するなど、昭和 32 年の諫早豪雨に次ぐ驚異的な雨量を記録したため、21 時に災害対策本部を設置し対応にあたった。

市内の状況は、西三城町付近では大上戸川が越水し、内田川は決壊が 3 か所、その他の越水が 15 か所、玖島川も越水するなど各地域で浸水被害や土砂災害、田畑の被害が報告された。

大村市の被害状況は、死者 1 名、床上・床下浸水家屋が 910 棟に及んだ。

【大村市の主な被害状況】

死者、行方不明	1 名
家屋半壊	2 棟
家屋一部損壊	3 棟
床上浸水	45 棟
床下浸水	865 棟
非住家（公共建物はなし）	12 棟
田畑流出・埋没	527 h a
田畑冠水	4 h a

※大村市災害対策本部記録より

4 長崎県における地震被害の状況

和 暦	西 暦	地震名	規模 (M)	被害中心地	被害の概要 (震度)
明暦 2. 11. 19	1657. 1. 3		激震	長崎	家屋一部倒壊 (5-6?)
元禄 13. 2. 26	1700. 4. 15		7. 0	壱岐・対馬	石垣・墓石・家屋倒壊(5)
享保 10. 10. 4-5	1725. 11. 8-9		6. 0	長崎・平戸	諸所破損多し (5)
享保 15. 1. 24	1730. 3. 12			対馬	諸所破損多し (5)
寛政 3. 11. 10	1791. 12. 5			小浜	家屋倒壊、死者 2 名 (6)
4. 3. 1-2	1792. 4. 21 -22	三月朔地震		島原・小浜・森山	石垣崩壊、地割れ、家屋倒壊 (5)
4. 3. 5	4. 25			森山	石垣崩壊、地割れ、家屋倒壊 (5)
4. 4. 1	5. 21	島原大変	6. 4	島原	石垣崩壊、眉山大崩壊 大津波、死者 1.5 万人
文化 5. 閏 6. 11	1808. 8. 2			五島	石垣石塔崩壊 (5)
文政 11. 4. 13	1828. 5. 26		6. 0	天草・長崎・五島	出島周辺崩壊数箇所 石仏倒(長崎 5、野母崎 5)
慶応 2. 3. 30	1866. 5. 14			千々石	各所に崩壊
大正 4. 7. 20 /21	1915. 7. 20 /21	喜々津地震群		喜々津村 井樋の尾岳	石垣一部崩壊 (喜々津 5、長崎 1)
大正 11. 12. 8	1922. 12. 8 ①01:49	島原地震	6. 9	北有馬	家屋倒壊、死者 23 人 (6) 煙突倒壊、水道管破裂
	②11:02		6. 5	小浜	家屋倒壊、死者 3 人 (6)
昭和 26. 2. 15	1951. 2. 15		5. 3	千々石	地割れ
昭和 59. 8. 6	1984. 8. 6 ①17:30		5. 7	小浜・千々石	家屋一部損壊、石垣墓石倒壊 (5)
	②17:38		5. 0		
平成 17. 3. 20	2005. 3. 20	福岡西方沖地震	7. 0	壱岐	負傷者 2 名、住宅全壊 1 棟、 住宅一部破壊 1 6 棟ほか
平成 28 4. 14・16	2016 4. 14・16	平成 28 年 (2016 年) 熊本地震	7. 3	南島原・島原・雲仙・諫早	

地震規模 (M) : 新篇日本被害地震総覧 (宇佐美、1996) による。

ただし、1951 年以降は気象庁資料

5 大村市における地震発生状況

過去30年間ににおける地震発生状況（震度2以上）

※2007年3月から観測開始

No	地震発生日時		震源地	規模(M)	観測地	震度
1	2007年	9月24日17時12分	天草灘	M4.1	玖 島	2
2		12月1日11時33分	長崎県南西部	M3.2		2
3	2008年	10月16日13時32分	長崎県南西部	M3.9		2
4	2009年	6月28日09時35分	長崎県南西部	M4.0		3
5		6月28日10時14分		M3.3		2
6		6月28日20時00分		M3.3		2
7		6月30日01時21分		M3.9		2
8	2012年	8月17日08時46分	天草灘	M4.9		2
9		11月6日09時07分	長崎県南西部	M2.6		2
10	2015年	11月14日05時51分	薩摩半島西方沖	M7.1		2
11	2016年	4月14日21時26分	熊本県 熊本地方	M6.5		3
12		4月14日21時42分		M4.9		3
13		4月14日22時07分		M5.8		3
14		4月14日22時22分		M4.6		2
15		4月14日22時38分		M5.0		3
16		4月14日23時43分		M5.1		2
17		4月15日00時03分		M6.4		3
18		4月15日00時06分		M5.0		2
19		4月16日01時25分		M7.3		4
20		4月16日01時26分		M4.7		2
21		4月16日01時30分		M5.3		3
22		4月16日01時33分		M6.4		2
23		4月16日01時44分		M5.4		3
24		4月16日01時45分		M5.9		3
25		4月16日02時04分		M4.9		2
26		4月16日03時03分	熊本県	M5.9		2
27		4月16日03時55分	阿蘇地方	M5.8		2
28		4月16日09時48分	熊本県 熊本地方	M5.4		2
29		4月16日16時02分		M5.4		3
30		4月16日21時05分		M4.4		2
31		4月17日19時23分	熊本県阿蘇地方	M4.4		2
32		4月18日20時41分	熊本県阿蘇地方	M5.8		2
33		4月19日17時52分	熊本県 熊本地方	M5.5		2
34		4月19日20時47分		M5.0		2
35		4月25日00時44分		M4.5		2
36		7月9日18時05分	有明海	M4.5		2
37		8月31日19時46分	熊本県熊本地方	M4.5		2

No	地 震 発 生 日 時		震 源 地	規模(M)	観測地	震度
38	2 0 1 6 年	9 月 1 日 06 時 33 分	熊本県熊本地方	M 4 . 8	玖 島	2
39	2 0 1 7 年	5 月 1 1 日 20 時 21 分	有 明 海	M 4 . 4		2
40		6 月 9 日 23 時 36 分	橘 湾	M 4 . 3		2
41	2 0 1 9 年	1 月 3 日 18 時 10 分	熊本県阿蘇地方	M 5 . 1		2
42		2 月 2 3 日 14 時 30 分	天 草 灘	M 4 . 4		2
43		5 月 1 0 日 08 時 48 分	日 向 灘	M 6 . 3		2
44	2 0 2 1 年	6 月 2 6 日 10 時 49 分	熊本県熊本地方	M 4 . 0		2
45	2 0 2 2 年	1 月 2 2 日 01 時 08 分	日 向 灘	M 6 . 6		2
46	2 0 2 4 年	8 月 8 日 16 時 42 分	日 向 灘	M 7 . 1		2

6 気象庁震度階級関連解説表

(1) 使用にあたっての留意事項

ア 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。

イ 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。

また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。

ウ 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。

エ この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

また、それぞれの震度階級で示されているすべての現象が発生するわけではありません。

オ この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。

カ 資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用 語	意 味
まれに わずか 大半 ほとんど	極めて少ない。めったにない。 数量・程度が非常に少ない。ほんの少し 半分以上。ほとんどよりは少ない。 全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

*気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています。

(2) 人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震 度 階 級	人 の 体 感 ・ 行 動	屋 内 の 状 況	屋 外 の 状 況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人のほとんどが目覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5 弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5 強	大半の人が、物につかまらなないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。

震 度 階 級	人 の 体 感 ・ 行 動	屋 内 の 状 況	屋 外 の 状 況
6 弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6 強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり、倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

(3) 木造建物（住宅）の状況

震 度 階 級	木 造 建 物 （住 宅）	
	耐 震 性 が 高 い	耐 震 性 が 低 い
5 弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5 強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6 弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6 強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

(注1) 木造建物（住宅）の耐震性により2つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注2) この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

(注3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

(4) 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度 階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5強	—	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6弱	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6強	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

(注1) 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

(5) 地盤・斜面等の状況

震 度 階 級	地 盤 の 状 況	斜 面 等 の 状 況
5 弱	亀裂※ ¹ や液状化※ ² が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5 強		
6 弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6 強	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある※ ³ 。
7		

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは、規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面から泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

(6) ライフライン・インフラ等への影響

ガ ス 供 給 の 停 止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることがある※。
断 水 、 停 電 の 発 生	震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある※。
鉄 道 の 停 止 、 高 速 道 路 の 規 制 等	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電 話 等 通 信 の 障 害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エ レ ベ ー タ ー の 停 止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

*震度6強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

(7) 大規模構造物への影響

長周期地震動※ による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長いため、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱いOA機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらないうと、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

＊規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなることがある。

V 各種通信設備の状況等

1 防災行政無線等の整備状況

名 称		場 所	目 的 ・ 現 況 等
防 災 行 政 無 線 同 報 系	屋外拡声子局	市 内 5 8 か所	屋外で行動（活動）中の市民に対する防災情報伝達のため
	戸別受信機 (防災ラジオ)	公 共 場 所 等 聴覚障がい者 一 般 世 帯 事 業 所	屋内の市民に対する防災情報伝達のため
土 石 流 予 警 報 装 置		武 留 路 地 区	集中豪雨等の把握及び情報伝達
防 災 フ ァ ク シ ミ リ 通 信 シ ス テ ム		庁 舎	防災情報の迅速かつ的確な防災行政無線網への伝達を図るため
気 象 情 報 端 末 機		庁 舎	河川情報の情報収集のため河川情報センター端末機の導入
I P 無 線			指令（1 局）、車載（2 8 局） 携帯（7 9 局）
備 考			

2 関係機関無線局

免許人	設 置 場 所	受 付 所	電 話 番 号
警察署	大村市森園町	大村警察署	54-0110
自衛隊	〃 西乾馬場町	陸自大村駐屯地（第1 6 普通科連隊）	52-2131
	〃 富の原一丁目	陸自竹松駐屯地（第3 水陸機動連隊）	52-3141
	〃 今津町	海自大村航空基地（第2 2 航空群）	52-3131
水 防	〃 黒木町	萱瀬ダム管理事務所	55-7013
消 防	〃 森園町	大村消防署	52-4138
九 電	〃 東三城町	九州電力大村営業所	0120-986-403
九 建	〃 黒丸町	国交省長崎工事事務所大村維持出張所	55-7161
防災行政	〃 黒木町	萱瀬ダム管理事務所	55-7013
	〃 黒木町	〃（移動車）	55-7013

3 アマチュア無線局

総務省より免許を受けている個人は159局、団体（社団）は2局

団体

局 名（識別信号）	団体及び代表者氏名
J H 6 Z H V	風見鶏アマチュア無線クラブ 代表 一瀬 義典
J G 6 Y N L	勝手にハムクラブ 代表 勝手 孝英

4 防災行政無線同報系屋外拡声子局等の設置位置

名 称	設 置 場 所	種 類	名 称	設 置 場 所	種 類
基 地 局	琴平スカイパーク	—	—	—	—
三浦— 1	祝崎地区農道脇	2 方 向	萱瀬— 1	荒瀬公民館	2 連
三浦— 2	徳道地区農道脇	2 連	萱瀬— 2	JA 中部集出荷施設東	1 連
三浦— 3	三浦小学校	2 連	萱瀬— 3	天照皇大神神社	1 方 向
三浦— 4	越坂水源跡	1 連	萱瀬— 4	高良谷牧場駐車場	1 連
三浦— 5	さつき台公園	2 連	萱瀬— 5	萱瀬小学校	2 連
三浦— 6	今村バス待機所	2 連	萱瀬— 6	萱瀬出張所	2 連
鈴田— 1	鈴田出張所	4 連	萱瀬— 7	しゃくなげの里公園	2 方 向
鈴田— 2	内倉公民館	2 連	萱瀬— 8	久良原公民館	2 連
鈴田— 3	クリーンセンター陰平	1 連	萱瀬— 9	北川内公民館	1 方 向
鈴田— 4	小川内町第2駐車場	2 方 向	萱瀬— 10	萱瀬ダム記念館	2 連
鈴田— 5	鈴田峠バス方向転換場所	ミニ1連	萱瀬— 11	登山者用第3駐車場	1 連
鈴田— 6	平公民館	1 連	竹松— 1	郡地区公民館	2 方 向
鈴田— 7	平町レインボーロード駐車場	2 方 向	竹松— 2	竹松出張所	2 連
大村— 1	長崎医療センター東	2 方 向	福重— 1	郡中学校	2 連
大村— 2	芋堀手橋横	1 連	福重— 2	市道赤似田溜池線脇	1 連
大村— 3	向木場公民館	1 連	福重— 3	赤似田溜池横	1 連
大村— 4	大村中学校	2 連	福重— 4	弥勒寺町グラウンド	2 連
大村— 5	荒平公民館	2 方 向	福重— 5	重井田公民館入口	1 連
大村— 6	東大村小担尾市有林	1 連	福重— 6	重井田国有林入口	ミニ1連
大村— 7	松尾公民館	2 連	松原— 1	12分団詰所	4 連
大村— 8	横山頭水道施設跡	2 連	松原— 2	鉢巻山山腹	4 連
大村— 9	東大村小学校	1 連	松原— 3	儀太夫記念館	1 方 向
大村— 10	大多武演習場入口	1 方 向	松原— 4	東野岳旧県道脇	1 方 向
大村— 11	大多武公民館	1 連	松原— 5	東野岳北山口市有林	1 方 向
大村— 12	玖島中学校	2 連	松原— 6	武留路水道施設横	2 連
大村— 13	総合福祉センター	2 連	備 考		
大村— 14	大村市役所	2 方 向			
西大村— 1	大村消防署	4 連			
西大村— 2	植松ふれあい公園	2 連			
西大村— 3	上諏訪橋西	2 連			
西大村— 4	すわの森	2 連			
西大村— 5	ますらがはら展望公園	2 連			
西大村— 6	雄ヶ原配水池	1 方 向			

Ⅵ 関 係 機 関 等

1 県内所在の自衛隊等の配置及び担当区域

駐屯地・基地等		所 在 地	指定部隊等の長	担当区域
陸 上	大 村 駐 屯 地	大村市西乾馬場 416 0957-52-2131	大 村 駐 屯 地 司 令 (第 1 6 普通科連隊長)	長崎県(対馬を除く。)全域担当
	竹 松 駐 屯 地	大村市富の原 1-1000 0957-52-3141	竹 松 駐 屯 地 司 令 (第 3 水陸機動連隊長)	
	相 浦 駐 屯 地	佐世保市大湊町 678 0956-47-2166	相 浦 駐 屯 地 司 令 (水陸機動団長)	
	崎 辺 分 屯 地	佐世保市崎辺町 11 番 2 0956-34-1155	崎 辺 分 屯 地 司 令 (戦闘上陸大隊長)	
	対 馬 駐 屯 地	対馬市厳原町棧原 38 0920-52-0791	対 馬 駐 屯 地 司 令 (対 馬 警 備 隊 長)	対馬全域担当
海 上	佐世保地方総監部	佐世保市平瀬町 0956-23-7111	佐 世 保 地 方 総 監	
	大 村 航 空 基 地	大村市今津町 10 0957-52-3131	第 2 2 航 空 群 司 令	
	対 馬 防 備 隊	対馬市美津島町 0920-54-2209	対 馬 防 備 隊 司 令	対馬近海・対馬海峡
	上 対 馬 警 備 所	対馬市上対馬町 0920-86-2249	上 対 馬 警 備 所 長	〃
	下 対 馬 警 備 所	対馬市厳原町竜崎 0920-52-0997	下 津 島 警 備 所 長	〃
	壱 岐 警 備 所	壱岐市勝本町 0920-42-0167	壱 岐 警 備 所 長	〃
航 空	西部航空方面隊 第 1 5 警戒隊	五島市三井楽町 0959-84-2074	福 江 島 分 屯 基 地 司 令 (第 1 5 警戒隊長)	
	西部航空方面隊 第 1 9 警戒隊	対馬市上対馬町 0920-86-2202	海 栗 島 分 屯 基 地 司 令 (第 1 9 警戒隊長)	
機 関 等	自衛隊 長崎地方協力本部	長崎市出島町 2-25 095-826-8846	長 崎 地 方 協 力 本 部 長	長崎県全域
	自衛隊 長崎地方協力本部 大村地域事務所	大村市東本町 543 大村法務総合庁舎 1 階 0957-52-6217	大 村 地 域 事 務 所 長	大村市・東彼杵町 川棚町・波佐見町
	九州防衛局 長崎防衛支局	長崎市出島町 2-25 095-825-5303	長 崎 防 衛 支 局 長	九州(沖縄除く。)全域。山口県(下関市限定)

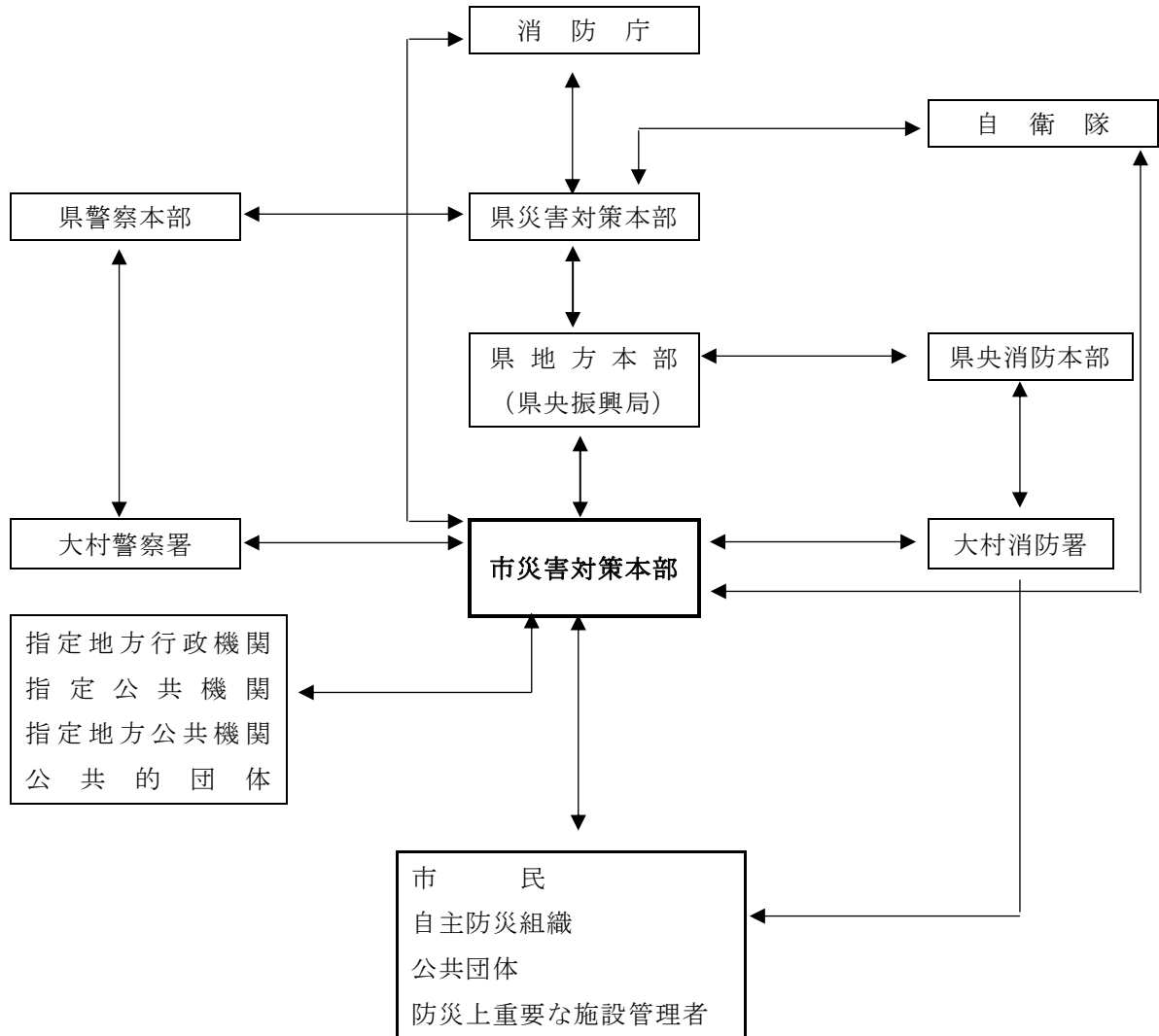
機 関 等	九州防衛局 佐世保防衛事務所	佐世保市木場田町 2-25 佐世保合同庁舎 6 階 0956-23-8846	長 崎 防 衛 支 局 長	長崎県(対馬及び壱 岐市除く。)全域
-------------	-----------------------	---	---------------	-----------------------

2 防災機関連絡先一覧表

機 関 名		連 絡 先	電 話 番 号	
			平 日	休日・夜間等
九州農政局長崎県拠点		農政推進グループ	095 -845-7123	
長崎河川国道事務所		代 表	095 -839-9211	
長崎森林管理署		総務グループ	0957 -41-6911	
〃 大村森林事務所		代 表	55-7008	
佐世保海上保安部		代 表	0956- 31-6003	0956-31-6003
長崎空港事務所		総務課	(代) 53-6151	
長崎地方气象台		代表	095 -811-4862	095-811-4861
自 衛 隊	第 1 6 普通科連隊	第 3 科	(代) 52-2131	(代) 52-2131
	第 3 水陸機動連隊	第 3 科	(代) 52-3141	(代) 52-3141
	第 2 2 航空群	運 用	(代) 52-3131	(代) 52-3131
	大村地域事務所	代 表	(代) 52-6217	(代) 52-6217
県央振興局		管理部	0957- 22-0010	
県央保健所		代 表	0957- 26-3304	
県央消防本部		代 表	0957- 23-0119	0957-23-0119
大村消防署		代 表	52-4138	0957-52-4138
大村警察署		警備課	(代) 54-0110	0957-54-0110
九州ガス大村支店		代 表	53-3320	
九州電力大村営業所		代 表	0120-986-403	
J R 九州	長崎支社	代 表	095 -827-4050	
	大村駅		52-3600	
県交通局大村営業所		代 表	52-6134	
トラック協会大村支部		代 表	55-3794	
大村市医師会		代 表	54-0151	
日赤長崎県支部		代 表	095 -846-0680	090-7152-1222
萱瀬ダム管理事務所		代 表	55-7013	
大村市消防団本部		代 表	52-2316	

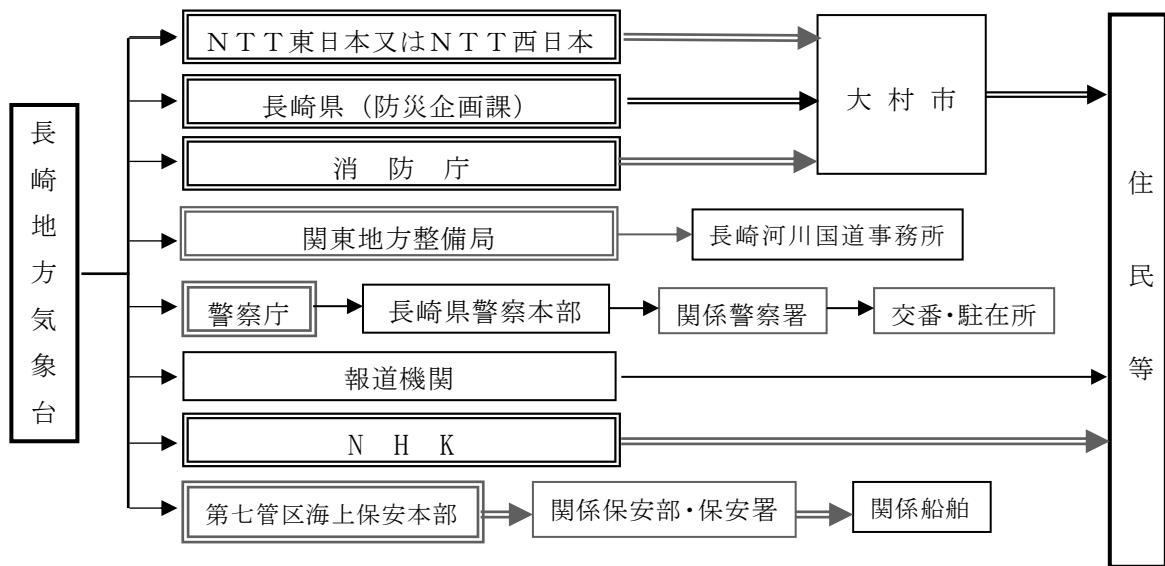
VII 情 報（伝達）系 統

1 総括的な災害情報等系統図



2 気象警報等の伝達系統図

別紙 2

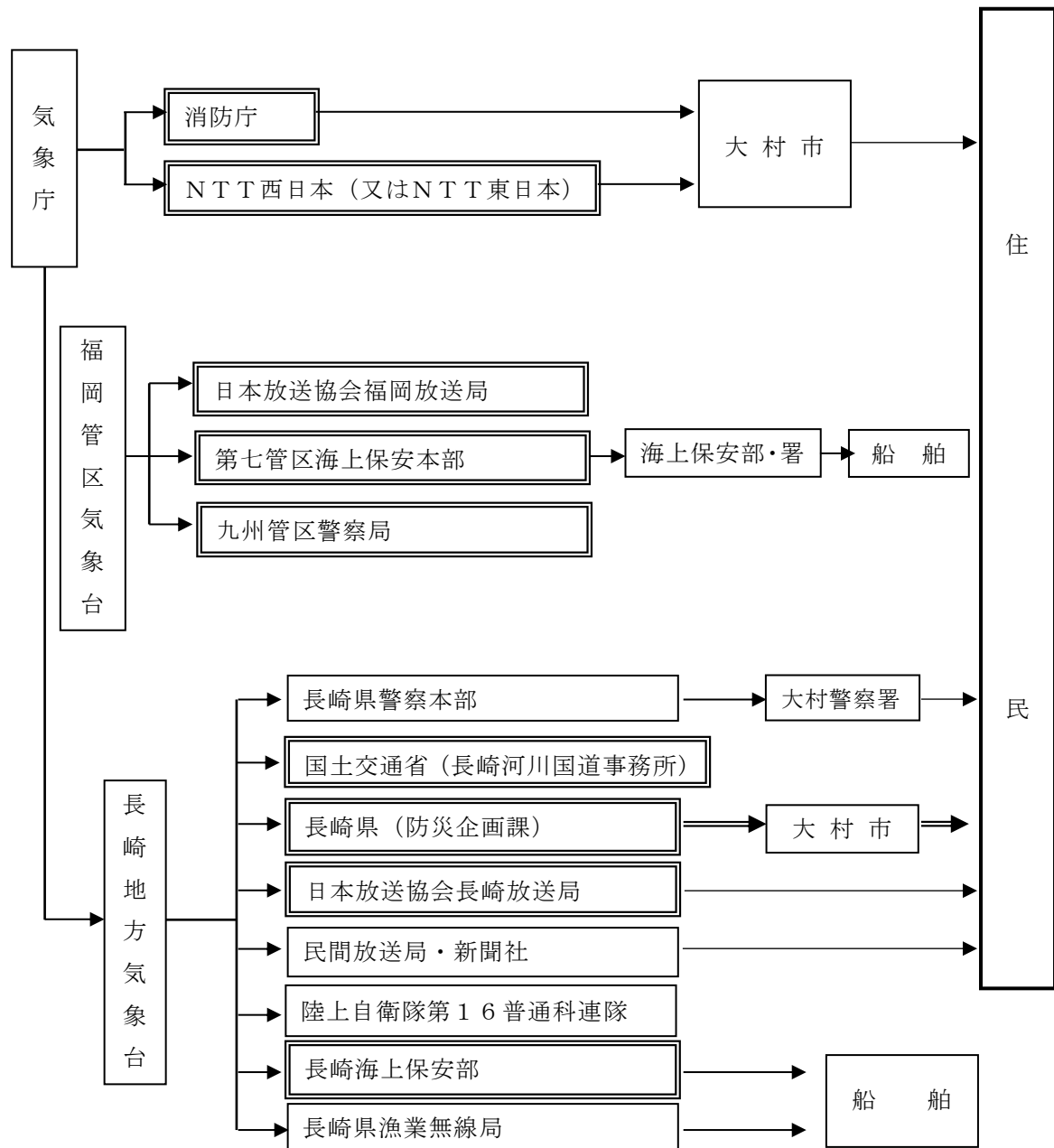


注1) 二重枠で囲まれている機関は、気象業務法施行令第8条第1項の規定に基づく法定伝達先

注2) 二重線の経路は、気象業務法第15条の2によって、警報の通知又は周知の措置が義務づけられている伝達経路

注3) 気象警報等をはじめとする各種防災気象情報は、上記伝達系統のほかに気象庁ホームページ等を通じて、各関係機関へ提供

3 津波警報・注意報の伝達系統図

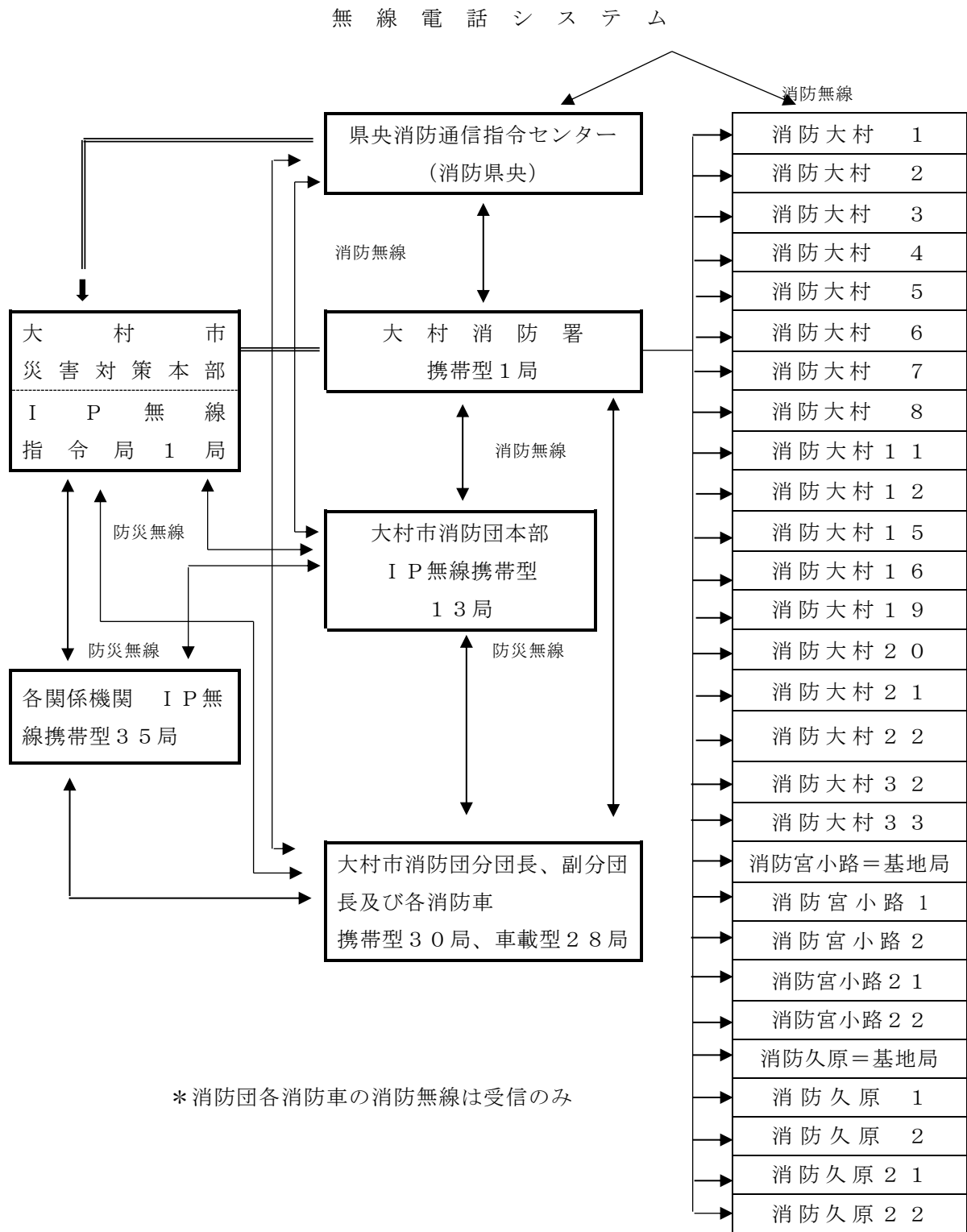


注1) 二重枠で囲まれている機関は、気象業務法施行令第8条第1号等の規定に基づく法定伝達先

注2) 二重線の経路は、特別警報が発表された際に、通知若しくは周知の措置が義務付けられている伝達経路

注3) 気象警報等をはじめとする各種防災気象情報は、上記伝達系統のほかに防災情報提供システム等を通じて、各関係機関へ提供

4 災害発生時の消防機関との連携



Ⅷ 指定避難所等

1 指定緊急避難場所

場 所 名 (所在地)			災 害 情 報			
			洪水	土砂	地震	津波
三浦地区	溝陸公園 (溝陸町 312-2)	0.25	○	○	○	○
	三浦出張所 (日泊町 791)		○	×	○ 駐車場	○
鈴田地区	岩松公園 (岩松町 929-1)	0.14	○	○	○	○
	鈴田出張所 (大里町 33-2)		○	○	○ 駐車場	○
大村地区	大村公園 (玖島 1 丁目 43)	21.4	○	×	○	○
	上小路公園 (玖島 2 丁目 329-1)	0.15	○	○	○	○
	玖島公園 (玖島 3 丁目 571-82)	0.09	○	○	○	○
	上久原公園 (木場 1 丁目 1106-18)	0.12	○	○	○	○
	赤佐古公園 (赤佐古町 154-1)	1.0	○	○	○	○
	長瀬公園 (久原 1 丁目 1173-1)	0.14	○	○	○	○
	久原公園 (久原 2 丁目 1201-3)	0.6	○	○	○	○
	小佐古公園 (武部町 489-1)	0.15	○	○	○	○
	駅前公園 (東三城町 7-10)	0.14	×	○	○	○
	水主町第二公園 (水主町 1 丁目 978-99)	0.1	×	○	○	○
	水主町公園 (水主町 2 丁目 635-1)	0.11	×	○	○	○
	市民交流プラザ (本町 326-1)		×	○	○	○
	伊勢町公園 (西本町 493-2)	0.47	×	○	○	×
	幸町公園 (幸町 25-173)	0.13	○	○	○	○
	体育文化センター (幸町 25-33)		○	○	○ 駐車場	○
大村地区	森園公園 (森園町 1484)	4.8	○	○	○	○
	古賀島スポーツ広場 (古賀島 595-2)	3.3	○	○	○	○
	慰霊塔公園 (松並 2 丁目 857)	0.19	○	○	○	○
	新城公園 (杭出津 1 丁目 940-1)	0.15	×	○	○	×
	杭出津公園 (杭出津 3 丁目 439-1)	0.09	○	○	○	○
	松並公園 (西大村本町 356)	0.28	○	○	○	○
	桜馬場第一公園 (桜馬場 1 丁目 224-3)	0.09	○	○	○	○
	桜馬場公園 (桜馬場 2 丁目 333-18)	0.1	○	○	○	○
	植松ふれあい公園 (植松 1 丁目 81-1)	0.21	○	○	○	○
	植松第二公園 (植松 2 丁目 436-1)	0.13	○	○	○	○
	植松公園 (植松 3 丁目 842)	0.1	○	○	○	○
	中諏訪公園 (諏訪 1 丁目 48-1)	0.13	○	○	○	○
	諏訪公園 (諏訪 2 丁目 274-4)	0.14	○	○	○	○
	棕木原公園 (諏訪 2 丁目 507-81)	0.18	○	○	○	○
	岳ノ木場公園 (上諏訪町 1698)	8.20	○	○	○	○
	アルカディア記念公園 (雄ヶ原町 147-34)	0.8	○	○	○	○
	ますらがはら展望公園 (雄ヶ原町 1298-29)	2.74	○	○	○	○

場 所 名 (所在地)		面積 (ha)	災 害 の 種 類			
			洪水	土砂	地震	津波
西 大 村 地 区	池田新町公園 (池田新町 763-84)	0.31	○	○	○	○
	池田湖公園 (池田 1 丁目 1007)	1.60	○	○	○	○
竹 松 地 区	宮小路公園 (宮小路 3 丁目 1368-1)	0.18	×	○	○	○
	富の原一丁目公園 (富の原 1 丁目 1279-82)	0.12	○	○	○	○
	富の原第二公園 (富の原 1 丁目 1171-5)	0.13	○	○	○	○
	富の原二丁目公園 (富の原 2 丁目 482)	0.15	×	○	○	○
	黒丸公園 (黒丸町 565)	0.12	×	○	○	○
	総合運動公園 (黒丸町 5 番 1)	4.4	×	○	○	○
	竹松公園 (竹松町 703-3)	0.13	×	○	○	○
	鬼橋公園 (鬼橋町 106-1)	0.14	×	○	○	○
	小路口本町公園 (小路口本町 426-3)	0.11	○	○	○	○
	上小路口公園 (小路口町 328-5)	0.17	○	○	○	○
	上原口公園 (原口町 632-4)	0.24	○	○	○	○
	下原口公園 (原口町 837)	0.17	○	○	○	○
	竹松本町公園 (竹松本町 958-1)	0.10	○	○	○	○
	大川田公園 (大川田町 875-4)	0.16	○	○	○	○
	竹松出張所 (大川田町 417-1)		○	○	○ 駐車場	○
萱 瀬 地 区	大村純忠史跡公園 (荒瀬町 1116)	0.36	○	○	○	○
	J A 長崎県央中部集出荷場 (荒瀬町)		○	○	○	○
	萱瀬出張所 (田下町 1577)		○	×	○ 駐車場	○
福 重 地 区	寿古公園 (寿古町 440-1)	0.14	×	○	○	○
	福重出張所 (皆同町 512-2)		×	×	○ 駐車場	○
松 原 地 区	松原公園 (松原本町 27-6)	0.16	×	○	○	×
	梶の尾公園 (松原 1 丁目 457)	0.39	○	○	○	○
	松原出張所 (松原本町 296-4)		○	○	○ 駐車場	○
	野岳湖公園 (東野岳町)		○	○	○	○
合 計 (か所)			5 2	5 7	6 2	5 2

2 指定避難所

(1) 一 般

※災害の種類、規模に応じて開設する。

指 定 避 難 所 名		(所在地/電話番号)	収容人数 (初期)	収容人数 (中長期)	収容人数 (感染症)	不適 災害
三 浦	三浦出張所	(日泊町 791/52-6475)	70	49	14	土砂
	三浦小学校	(日泊町 590/52-4318)	200	96	28	
	浄土寺	(日泊町 710/54-4747)	50	28	6	
	三浦かんさく会館	(日泊町 789 番地 1)	103	40	23	土砂
鈴 田	鈴田出張所	(大里町 33-2/52-2023)	70	42	14	
	鈴田小学校	(大里町 1546-1/52-4322)	250	144	35	
大 村 地 区	体育文化センター	(幸町 25-33/20-7200)	1,550	777	192	
	市民交流プラザ	(本町 326-1/47-6100)	100	63	24	洪水
	こどもセンター	(本町 413-2/54-9100)	200	115	34	洪水
	武道館	(三城町 137/53-4527)	330	196	48	洪水
	富松神社	(三城町 1 2 4 8 番地)	11	11	6	土砂
	東大村小学校	(東大村 2 丁目 1112/53-2597)	200	99	35	
	旭が丘小学校	(木場 1 丁目 129-1/53-0459)	250	144	35	
	大村小学校	(玖島 1 丁目 61/53-7117)	250	135	30	
	三城小学校	(東三城町 17/53-3234)	250	144	36	洪水
	玖島中学校	(久原 1 丁目 265/53-3401)	500	206	25	
	大村中学校	(赤佐古町 78/53-1333)	500	180	42	
	県立大村高校	(久原 1 丁目 591/52-2660)	700	270	72	
	県立大村城南高校	(久原 1 丁目 416/54-3121)	380	242	56	土砂
	県立大村特別支援学校	(久原 2 丁目 1418-2/52-6312)	105	105	20	
	大村市総合福祉センター	(本町 458-2/53-1351)	153	153	43	洪水
	県教育センター	(玖島 1 丁目 24-2/53-1131)	382	382	95	
西 大 村 地 区	中地区公民館	(古賀島町 133-31/53-1376)	111	111	29	
	西大村地区コミュニティセンター	(諏訪 2 丁目 536-63/53-4979)	100	68	16	
	放虎原小学校	(古賀島町 133-25/54-2815)	250	144	35	
	中央小学校	(松並 1 丁目 1275/53-2046)	300	180	48	
	西大村小学校	(乾馬場町 486/53-2670)	250	128	35	洪水
	西大村中学校	(松並 1 丁目 116-3/53-2360)	450	171	40	
	桜が原中学校	(桜馬場 2 丁目 487-1/55-1166)	500	200	48	
	県立大村工業高校	(森園町 1079-3/52-3772)	350	231	63	
	正法寺	(杭出津 2 丁目 708/52-2247)	90	42	12	洪水
	池田公民館	(池田 1 丁目 256-21)	50	20	5	
	池田湖畔会館	(池田 2 丁目 660)	50	21	4	
	本経寺	(古町 1 丁目 64/53-5510)	28	28	7	
竹 松 地 区	竹松出張所	(大川田町 417-1/55-8314)	80	64	19	
	郡地区公民館	(富の原 2 丁目 382-1/55-3337)	180	90	30	洪水
	竹松小学校	(宮小路 1 丁目 481/55-8224)	350	156	42	洪水
	富の原小学校	(富の原 1 丁目 1392-1/55-3200)	300	144	36	

指 定 避 難 所 名 (所在地/電話番号)		収容人数 (初期)	収容人数 (中長期)	収容人数 (感染症)	不適 災害
竹 松 地 区	県立虹の原特別支援学校 (宮小路 3 丁目 5-1/55-5260)	170	90	20	洪水
	県立ろう学校 (宮小路 3 丁目 5-5/55-5400)	120	112	32	洪水
萱 瀬 地 区	萱瀬出張所 (田下町 1577/55-7001)	80	48	15	土砂
	萱瀬ダム建設記念会館 (黒木町 611)	50	28	11	土砂
	萱瀬小学校 (宮代町 1167-1/55-7002)	200	104	28	
	黒木小学校 (黒木町 530/55-7800)	200	99	24	土砂
	萱瀬中学校 (田下町 510/55-7004)	220	122	32	
福 重 地 区	福重出張所 (皆同町 512-2/55-8614)	70	48	8	洪水 土砂
	福重小学校 (福重町 230/55-8524)	200	102	28	洪水
	郡中学校 (沖田町 69/55-8318)	450	270	61	洪水
	妙宣寺 (福重町 116/55-8624)	70	40	12	
松 原 地 区	松原出張所 (松原本町 296-4/55-8501)	70	50	12	
	松原小学校 (松原本町 5-1/55-8619)	200	104	28	津波 洪水
	野岳湖公園儀太夫記念館 (東野岳町 1131/55-8254)	42	42	11	
備 考		避難所数：5 2 箇所 収容人数：1 2、1 8 5 名（初期） ： 6、6 7 8 名（中長期） ： 1、7 0 4 名（感染症） ・災害初期収容人員は施設の面積の 7 割を避難者（2 m ² /1 人基準）にて算出 ・災害中長期収容人員は 1 m の通路を設け避難者（3 m ² /1 人基準）にて算出 ・感染症収容人員は避難者（3 m ² /1 人基準）及び避難者毎に 2 m の間隔を設けて算出			

(2) 福祉介護避難所

地 区 別	施 設 名
三 浦 地 区	ベイサイド大村
	三浦の里ふれあい荘
	L I N O きらめき
鈴 田 地 区	鈴田の里学園
	デイサービスわくわく
	ワークショップみらい
	大村地域生活支援センター
	キッチンあい彩館
大 村 地 区	大村さくらの家
	障害者支援施設パールハイム
	グループホームふぁみりい
	有料老人ホーム泉の里
	泉の里デイセンターとくせん（認知症）
	泉の里デイセンターとくせん
	軽費老人ホームサンライフ
	サンライフデイサービスセンター
	介護老人保健施設うぐいすの丘
	さつき園
	特別養護老人ホーム慈恵荘
	グループホーム慈恵荘
	あんしんハウス東大村
	児童発達支援センターふわり久原
	居宅生活支援センタースマイル
	通所リハビリテーションあおぞら
	特別養護老人ホーム泉の里
	ショートステイ泉の里
	グループホーム泉の里
	泉の里デイサービスセンター
	地域交流センター
	デイサービスセンターまりも倶楽部
	地域活動支援センター アトリエぼれぼれ
	児童発達支援ふわり本町
	ふわり本町プリスクール
西 大 村 地 区	デイサービスほのぼのハウス
	デイサービスいきいき日和
	グループホームあんのん
	小規模多機能ホームあんのん
	うたしデイサービス
	ケアホーム桜馬場

地 区 別	施 設 名
西 大 村 地 区	ケアホーム秋櫻
	きらく大村
	デイサービス楽々園
	デイサービスセンター湧泉荘
	養護老人ホーム湧泉荘
	特別養護老人ホーム箕望荘
	ショートステイ箕望荘
	デイサービスセンター箕望荘
	デイサービスセンター絆（きずな）
	まったりホーム絆
竹 松 地 区	あんしんハウスとみのはら
	グループホームねむの木
	デイサービスセンターふる里
	グループホーム癒
	ピアハウスビハーラ
	デイサービスふわり
	いきいき農園
	グループホームたんぼぼの家
	グループホームたんぼぼ憩の家
萱 瀬 地 区	ワーキングヒルズ
	障害者支援施設 三彩の里
	グループホームかやぜの里
	サービス付き高齢者住宅かやぜの里
	リハビリセンター大村
福 重 地 区	特別養護老人ホーム flora
	看護小規模多機能 flora
	短期入所生活介護 flora
松 原 地 区	介護付有料老人ホームたんぼぼの丘
	宅老所 悠
	デイサービス悠久ひろば
	デイサービスひこばゆ
合 計	70 箇所

Ⅸ 災害備蓄品等

1 備蓄品

	非常食等						日用品	衛生用品				避難所用品							
	非常食米(赤飯等)「食」	クラッカー類「袋」	ライスクッキー (アレルギー対応)「個」	液体ミルク「缶」	飲料水「500ml」	飲料水「2000ml」	紙皿・スプーン・ティッシュ・ ビニール袋等	紙おむつ(大人用)「枚」	紙おむつ(幼児用)「枚」	生理用品「枚」	タオル「枚」	救急消耗品セット	簡易トイレ・テント「セット」	トイレ用ビニール(凝固剤付)「枚」	発電機(コード含む)「台」	投光器「台」	ブルーシート「枚」	毛布「枚」	マンホールトイレセット「式」
消防署裏備蓄倉庫	1450	484	912		72	424													
						312	2500	384	2088	1620	200	4	4	800	1	2	10		
	1100		816											120			31	18	
	1050		960											220			30	24	
	1600	900	48			12											20		
	500		144		129	6								100			39	7	
	1650	600	192											200			26	10	
	50		168		48												16	33	
	6050		2520	120	1292											30			
																			4
富の原小学校																			
鈴田小学校																			4
桜が原中学校																			7
西大村中学校																			6

	非常食等						日用品	衛生用品					避難所用品						
	非常食米(赤飯等)「食」	クラッカー類「袋」	ライスクッキー (アレルギー対応)「個」	液体ミルク「缶」	飲料水「500ml」	飲料水「2000ml」		紙おむつ(大人用)「枚」	紙おむつ(幼児用)「枚」	生理用品「枚」	タオル「枚」	救急消耗品セット	簡易トイレ・テント 「セット」	トイレ用ビニール(凝固剤 付)「枚」	発電機(コード含む)「台」	投光器「台」	ブルーシート「枚」	毛布「枚」	マンホールトイレセット「式」
妙宣寺	500	360	336		72	6								20					
旧市民病院																		460	
竹松小学校															1				
水主町水防倉庫																	434	90	
北部水防倉庫																	35		
日赤倉庫																		30	
中地区公民館														380				92	
東大村小学校	200	120																20	
黒木小学校	650	300	96															20	
上下水道局倉庫														125					
西大村コミセン	200	240																19	
旭が丘小学校																			4
緑のふれあい館																	4		
大村ボート																	15		
三浦かんさく会館			96		144													40	
萱瀬中学校																			3
浄水管理センター																			19
合計	15000	3004	6288	120	1757	760	2500	384	2088	1620	200	4	4	1965	2	32	640	883	47

2 ベッド類

区 分	保 管 場 所	数	
マ ッ ト レ ス	大村市民病院 旧心臓血管病センター	6 1 枚	
	竹松出張所	5 枚	
	鈴田出張所	4 枚	
マイルディシート	福重出張所	1 0 本	
	松原出張所	7 本	
	鈴田出張所	2 本	
	萱瀬出張所	1 6 本	
	三浦出張所	1 2 本	
	竹松出張所	1 3 本	
	大村市民病院 旧心臓血管病センター	3 2 本	
エ ア ベ ッ ト	三浦出張所	2 個	
	鈴田出張所	2 個	
	竹松出張所	2 個	
	萱瀬出張所	2 個	
	福重出張所	2 個	
	松原出張所	2 個	
	コミセン	2 個	
	中地区公民館	2 個	
	郡コミセン	2 個	
	妙宣寺	2 個	
	東大村小学校	2 個	
	黒木小学校	2 個	
	福重小学校	2 個	
	富の原小学校	2 個	
	中央小学校	2 個	
	竹松小学校	2 個	
	西大村小学校	2 個	
	桜が原中学校	2 個	
	郡中学校（武道館）	2 個	
	みどりのふれあい館	2 個	
	大村ボート場	1 個	
	安全対策課（シーハット分）	1 個	
	中地区公民館備蓄倉庫	1 個	
段 ボ ー ル ベ ッ ド	大村市水防倉庫	2 8 セット	1 3 1 セット
	大村市北部水防倉庫	3 セット	
	大村市民病院 旧心臓血管病センター	9 7 セット	
	大村ボート場	3 セット	
備 考	段ボールベッドについては、7 0 か所の福祉介護避難所にそれぞれ 1 個セッ ト配置（訓練用兼）		

Ⅹ 危険箇所等

1 土砂災害警戒区域・特別警戒区域指定場所

(1) 平成21年3月24日指定

*網掛け：警戒区域のみ

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号
西部町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－70	今村町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－246
		2	大村－(急)－74			2	大村－(急)－247
		3	大村－(急)－75			3	大村－(急)－249
		4	大村－(急)－76			4	大村－(急)－254
		5	大村－(急)－78			5	大村－(急)－254－2
		6	大村－(急)－79			6	大村－(急)－255
		7	大村－(急)－80			7	大村－(急)－257
		8	大村－(急)－83			8	大村－(急)－257－2
		9	大村－(急)－84			9	大村－(急)－261
		10	大村－(急)－86			10	大村－(急)－264
		11	大村－(急)－87			11	大村－(急)－264－2
		12	大村－(急)－88			12	大村－(急)－264－3
		13	大村－(急)－89			13	大村－(急)－267
		14	大村－(急)－89－2			14	大村－(急)－267－2
		15	大村－(急)－90			15	大村－(急)－268
		16	大村－(急)－229			16	大村－(急)－328
		17	大村－(急)－229－2			17	大村－(急)－329
		18	大村－(急)－236			18	大村－(急)－330
		19	大村－(急)－236－2			19	大村－(急)－331
	土 石 流	1	大村－(土)－29			20	大村－(急)－332
		2	大村－(土)－31			21	大村－(急)－332－2
日泊町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－238			22	大村－(急)－333
		2	大村－(急)－239			23	大村－(急)－334
		3	大村－(急)－243			24	大村－(急)－335
		4	大村－(急)－244			25	大村－(急)－336
		5	大村－(急)－248			26	大村－(急)－337
		6	大村－(急)－251			27	大村－(急)－338
		7	大村－(急)－252			28	大村－(急)－339
		8	大村－(急)－223			29	大村－(急)－340
		9	大村－(急)－258		土 石 流	1	大村－(土)－33
		10	大村－(急)－259			2	大村－(土)－35
		11	大村－(急)－262			3	大村－(土)－36
		12	大村－(急)－263			4	大村－(土)－47
		13	大村－(急)－266			5	大村－(土)－48
	急傾斜地の崩壊	14	大村－(急)－266－2	合 計	急 傾 斜 地	65か所	
		15	大村－(急)－269				
		16	大村－(急)－269－2		土 石 流	9か所	
		17	大村－(急)－270				
	土 石 流	1	大村－(土)－32				
		2	大村－(急)－34				

(2) 平成21年12月18日指定

*網掛け：警戒区域のみ

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	
溝 陸 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－271	久原 1丁目	急傾斜地の崩壊	6	大村－(急)－61	
		2	大村－(急)－272					
		3	大村－(急)－273	久 原 2 丁 目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－51	
		4	大村－(急)－274			2	大村－(急)－51－2	
		5	大村－(急)－275			3	大村－(急)－56	
		6	大村－(急)－276			4	大村－(急)－56－2	
		7	大村－(急)－277			5	大村－(急)－60	
		8	大村－(急)－278			6	大村－(急)－62	
		9	大村－(急)－279			7	大村－(急)－63	
		10	大村－(急)－280	木 場 1丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－48	
		11	大村－(急)－341	2		大村－(急)－54		
		12	大村－(急)－341－2	木 場 2丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－153	
		13	大村－(急)－342			2	大村－(急)－154	
		14	大村－(急)－243			3	大村－(急)－159	
		15	大村－(急)－244	三 城 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－17 *1	
	土 石 流	1	大村－(土)－37			2	大村－(急)－20	
			3			大村－(急)－23		
赤 佐 古 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－34				4	大村－(急)－25
		2	大村－(急)－36					
		3	大村－(急)－37	須 田 ノ 木 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－41	
		4	大村－(急)－37－2	2		大村－(急)－42		
		5	大村－(急)－39	3		大村－(急)－43		
		6	大村－(急)－40	武 部 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－28	
		7	大村－(急)－37－3			2	大村－(急)－28－3	
荒 平 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－18		3	大村－(急)－28－4		
		2	大村－(急)－22－3		4	大村－(急)－38		
		3	大村－(急)－124	徳 泉 川 内 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－30	
		4	大村－(急)－125			2	大村－(急)－30－2	
		5	大村－(急)－125－2			3	大村－(急)－32－2	
		6	大村－(急)－126			4	大村－(急)－33	
		7	大村－(急)－127			5	大村－(急)－138	
		8	大村－(急)－129			6	大村－(急)－139	
		9	大村－(急)－133			7	大村－(急)－144	
		10	大村－(急)－134			8	大村－(急)－146	
		11	大村－(急)－134－2			9	大村－(急)－32	
片 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－45		10	大村－(急)－136		
玖 島 1丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－49	水 計 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－19	
2		大村－(急)－50	2			大村－(急)－21		
玖 島 2丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－44			3	大村－(急)－21－2	
2		大村－(急)－46	4			大村－(急)－26		
久原 1丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－52				5	大村－(急)－27
		2	大村－(急)－53			6	大村－(急)－31	
		3	大村－(急)－53－2			7	大村－(急)－31－2	
		4	大村－(急)－58	向 木 場 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－153－2	
		5	大村－(急)－59	2		大村－(急)－55		

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号				
向 木 場 町	急傾斜地の崩壊	3	大村－(急)－151	東 大 村 2 丁 目	急傾斜地の崩壊	8	大村－(急)－110				
		4	大村－(急)－172			9	大村－(急)－111				
東 大 村 1 丁 目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－128			10	大村－(急)－113				
		2	大村－(急)－128－2			11	大村－(急)－113－2				
		3	大村－(急)－128－3			12	大村－(急)－114				
		4	大村－(急)－131			13	大村－(急)－117				
		5	大村－(急)－132			14	大村－(急)－118				
		6	大村－(急)－135			15	大村－(急)－118－2				
		7	大村－(急)－140			16	大村－(急)－119				
		8	大村－(急)－141			17	大村－(急)－119－2				
		9	大村－(急)－142			18	大村－(急)－120				
		10	大村－(急)－145			19	大村－(急)－123				
		11	大村－(急)－145－2			20	大村－(急)－123－2				
		12	大村－(急)－147			21	大村－(急)－123－3				
		13	大村－(急)－148			22	大村－(急)－123－4				
		14	大村－(急)－148－2			23	大村－(急)－130				
		15	大村－(急)－149			24	大村－(急)－137				
		16	大村－(急)－156			25	大村－(急)－143				
		17	大村－(急)－157			26	大村－(急)－282				
		18	大村－(急)－281			土 石 流	1	大村－(土)－8			
		19	大村－(急)－284			合計	急 傾 斜 地	1 4 7 か所			
		20	大村－(急)－285				土 石 流	2 か所			
		21	大村－(急)－287				※ 1 区域変更により平成 3 0 年 7 月 2 0 日指定				
		22	大村－(急)－288								
		23	大村－(急)－289								
		24	大村－(急)－291								
		25	大村－(急)－292								
		26	大村－(急)－293								
		27	大村－(急)－293－2								
		28	大村－(急)－293－3								
		29	大村－(急)－293－5								
		30	大村－(急)－293－6								
		31	大村－(急)－294								
		32	大村－(急)－294－2								
		33	大村－(急)－296								
東 大 村 2 丁 目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－98								
		2	大村－(急)－99								
		3	大村－(急)－99－2								
		4	大村－(急)－100								
		5	大村－(急)－101								
		6	大村－(急)－103								
		7	大村－(急)－108								

(3) 平成24年3月23日指定

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号
陰 平 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－64	中 里 町	急傾斜地の崩壊	11	大村－(急)－224
		2	大村－(急)－64－2			12	大村－(急)－322
		3	大村－(急)－64－3			13	大村－(急)－322－2
		4	大村－(急)－65			14	大村－(急)－322－3
		5	大村－(急)－66			15	大村－(急)－323
		6	大村－(急)－66－2			16	大村－(急)－324
		7	大村－(急)－66－3			17	大村－(急)－325
		8	大村－(急)－66－4			18	大村－(急)－325－2
		9	大村－(急)－67			19	大村－(急)－325－3
		10	大村－(急)－68			20	大村－(急)－325－4
		11	大村－(急)－69			21	大村－(急)－325－5
		12	大村－(急)－71－2			22	大村－(急)－326
		13	大村－(急)－72			23	大村－(急)－327
		14	大村－(急)－72－3		土 石 流	1	大村－(土)－25
	土 石 流	15	大村－(急)－73			2	大村－(土)－43
		16	大村－(急)－203			3	大村－(土)－46
		17	大村－(急)－204	大 里 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－217
		18	大村－(急)－206			2	大村－(急)－223
		19	大村－(急)－206－2			3	大村－(急)－223－2
		20	大村－(急)－207			4	大村－(急)－223－3
		21	大村－(急)－208			5	大村－(急)－223－4
		22	大村－(急)－208－2			6	大村－(急)－223－5
		23	大村－(急)－208－3			7	大村－(急)－225
		24	大村－(急)－209			8	大村－(急)－226
		25	大村－(急)－211			9	大村－(急)－227
		26	大村－(急)－212			10	大村－(急)－227－2
		1	大村－(土)－4			11	大村－(急)－227－3
		2	大村－(土)－4－2			12	大村－(急)－228
		3	大村－(土)－5			13	大村－(急)－230
		4	大村－(土)－6			14	大村－(急)－230－2
		5	大村－(土)－22			15	大村－(急)－230－3
		6	大村－(土)－23			16	大村－(急)－230－4
中 里 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－213			17	大村－(急)－232
		2	大村－(急)－214			18	大村－(急)－232－2
		3	大村－(急)－215			19	大村－(急)－232－3
		4	大村－(急)－216			20	大村－(急)－233
		5	大村－(急)－218			21	大村－(急)－233－2
		6	大村－(急)－219			22	大村－(急)－233－3
		7	大村－(急)－219－2			23	大村－(急)－235
		8	大村－(急)－220			24	大村－(急)－237
		9	大村－(急)－222			25	大村－(急)－240
		10	大村－(急)－222－2			26	大村－(急)－240－2

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号
大 里 町	急傾斜地の崩壊	27	大村－(急)－241	小 川 内 町	急傾斜地の崩壊	12	大村－(急)－167
		28	大村－(急)－242			13	大村－(急)－168
		29	大村－(急)－245			14	大村－(急)－169
	土 石 流	1	大村－(急)－26			15	大村－(急)－170
		2	大村－(急)－27			16	大村－(急)－173
		3	大村－(急)－28			17	大村－(急)－173－2
		4	大村－(急)－30			18	大村－(急)－174
岩 松 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－175			19	大村－(急)－174－3
		2	大村－(急)－184			20	大村－(急)－174－4
		3	大村－(急)－185			21	大村－(急)－174－5
		4	大村－(急)－185－2			22	大村－(急)－177
		5	大村－(急)－185－3			23	大村－(急)－178
		6	大村－(急)－185－4			24	大村－(急)－180
		7	大村－(急)－185－5			25	大村－(急)－182
		8	大村－(急)－185－6			26	大村－(急)－182－2
		9	大村－(急)－185－7			27	大村－(急)－182－3
		10	大村－(急)－186－2			28	大村－(急)－182－5
		11	大村－(急)－186－3			29	大村－(急)－189
		12	大村－(急)－187			30	大村－(急)－189－2
		13	大村－(急)－188			31	大村－(急)－190
		14	大村－(急)－188－2			32	大村－(急)－196
		15	大村－(急)－191			33	大村－(急)－196－2
		16	大村－(急)－193			34	大村－(急)－196－3
		17	大村－(急)－194			35	大村－(急)－199
		18	大村－(急)－194－2			36	大村－(急)－200
		19	大村－(急)－194－3			37	大村－(急)－201
		20	大村－(急)－195			38	大村－(急)－201－2
		21	大村－(急)－197			39	大村－(急)－205
		22	大村－(急)－197－2			40	大村－(急)－205－2
		23	大村－(急)－198			41	大村－(急)－306
	土 石 流	1	大村－(土)－17			42	大村－(急)－307
小 川 内 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－155	土 石 流	土 石 流	1	大村－(土)－15
		2	大村－(急)－158			2	大村－(土)－16
		3	大村－(急)－158－2			3	大村－(土)－18
		4	大村－(急)－160			4	大村－(土)－19
		5	大村－(急)－161	平 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－183
		6	大村－(急)－161－2			2	大村－(急)－183－2
		7	大村－(急)－162			3	大村－(急)－183－3
		8	大村－(急)－163			4	大村－(急)－183－4
		9	大村－(急)－163－2			5	大村－(急)－202
		10	大村－(急)－164			6	大村－(急)－299
		11	大村－(急)－165			7	大村－(急)－300

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号
平 町	急傾斜地の崩壊	8	大村－(急)－301	平 町	急傾斜地の崩壊	24	大村－(急)－314
		9	大村－(急)－302			25	大村－(急)－316
		10	大村－(急)－303			26	大村－(急)－317
		11	大村－(急)－303－2			27	大村－(急)－318
		12	大村－(急)－304			28	大村－(急)－319
		13	大村－(急)－305			29	大村－(急)－319－2
		14	大村－(急)－305－3			30	大村－(急)－319－3
		15	大村－(急)－305－4			31	大村－(急)－320
		16	大村－(急)－305－5		土 石 流	1	大村－(土)－15
		17	大村－(急)－305－6	合 計	急 傾 斜 地	1 7 4 か所	
		18	大村－(急)－308				
		19	大村－(急)－309		土 石 流	1 9 か所	
		20	大村－(急)－309－2				
		21	大村－(急)－310				
		22	大村－(急)－311				
		23	大村－(急)－312				

(4) 平成28年3月29日指定

*網掛け：警戒区域のみ

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号
武留路町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－345	東野岳町	急傾斜地の崩壊	11	大村－(急)－397
		2	大村－(急)－346			12	大村－(急)－398
		3	大村－(急)－347	草場町	土石流	1	大村－(土)－49
		4	大村－(急)－348			1	大村－(急)－399
		5	大村－(急)－350		急傾斜地の崩壊	2	大村－(急)－400
		6	大村－(急)－351			3	大村－(急)－400－2
		7	大村－(急)－352			4	大村－(急)－400－3
		8	大村－(急)－353			5	大村－(急)－401
松原1丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－354			6	大村－(急)－401－2
		2	大村－(急)－355			7	大村－(急)－402
松原2丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－358			8	大村－(急)－402－2
		2	大村－(急)－359			9	大村－(急)－403
松原3丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－360	福重町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－404
		2	大村－(急)－361			2	大村－(急)－405
		3	大村－(急)－362			3	大村－(急)－406
		4	大村－(急)－364			4	大村－(急)－407
		5	大村－(急)－365			5	大村－(急)－408
野岳町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－367	皆同町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－409
		2	大村－(急)－368			2	大村－(急)－409－2
		3	大村－(急)－369			3	大村－(急)－409－3
		4	大村－(急)－370			4	大村－(急)－410
		5	大村－(急)－373	今富町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－411
		6	大村－(急)－374			2	大村－(急)－412
		7	大村－(急)－375			3	大村－(急)－412－2
		8	大村－(急)－376			4	大村－(急)－413
		9	大村－(急)－377			5	大村－(急)－414
		10	大村－(急)－378			6	大村－(急)－415
		11	大村－(急)－379			7	大村－(急)－415－2
		12	大村－(急)－381			8	大村－(急)－415－3
		13	大村－(急)－382			9	大村－(急)－416
		14	大村－(土)－383			10	大村－(急)－417
		15	大村－(急)－423			11	大村－(急)－417－2
		16	大村－(急)－423－2			12	大村－(急)－418
東野岳町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－385	弥勒寺町	急傾斜地の崩壊	13	大村－(急)－419
		2	大村－(急)－386			14	大村－(急)－420
		3	大村－(急)－388			15	大村－(急)－421
		4	大村－(急)－389			1	大村－(急)－422
		5	大村－(急)－390	立福寺町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－424
		6	大村－(急)－392			2	大村－(急)－425
		7	大村－(急)－393			3	大村－(急)－426
		8	大村－(急)－394			4	大村－(急)－427
		9	大村－(急)－395			5	大村－(急)－427－2
		10	大村－(急)－396				

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号
立 福 寺 町	急傾斜地の崩壊	6	大村－(急)－428	重 井 田 町	急傾斜地の崩壊	13	大村－(急)－458
		7	大村－(急)－429			14	大村－(急)－459
		8	大村－(急)－430	土 石 流	15	大村－(急)－459－2	
		9	大村－(急)－430－2		1	大村－(土)－ 50	
		10	大村－(急)－431	2	大村－(土)－ 51		
		11	大村－(急)－432	宮 代 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－460
		12	大村－(急)－433			2	大村－(急)－461
		13	大村－(急)－434			3	大村－(急)－462
		14	大村－(急)－434－2			4	大村－(急)－463
		15	大村－(急)－434－3			5	大村－(急)－464
		16	大村－(急)－423－3			6	大村－(急)－465
野 田 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－435			7	大村－(急)－465－2
		2	大村－(急)－435－2			8	大村－(急)－465－3
		3	大村－(急)－435－3			9	大村－(急)－465－4
		4	大村－(急)－436			10	大村－(急)－465－5
		5	大村－(急)－437			11	大村－(急)－465－6
		6	大村－(急)－438			12	大村－(急)－465－7
		7	大村－(急)－438－2			13	大村－(急)－466
		8	大村－(急)－439			14	大村－(急)－466－2
荒 瀬 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－440			15	大村－(急)－466－3
		2	大村－(急)－441			16	大村－(急)－466－4
		3	大村－(急)－442			17	大村－(急)－466－5
		4	大村－(急)－443			18	大村－(急)－467
		5	大村－(急)－444			19	大村－(急)－473
		6	大村－(急)－445	土 石 流	1	大村－(土)－ 52	
		7	大村－(急)－446		2	大村－(土)－ 53	
池 田 2 丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－447		3	大村－(土)－ 54	
		4	大村－(土)－ 54－2				
上 諏 訪 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－448		5	大村－(土)－ 54－3	
		2	大村－(急)－448－2	原 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－442－1
		3	大村－(急)－448－3			2	大村－(急)－442－2
		4	大村－(急)－448－4			3	大村－(急)－468
重 井 田 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－449			4	大村－(急)－468－2
		2	大村－(急)－450			5	大村－(急)－469
		3	大村－(急)－450－2			6	大村－(急)－470
		4	大村－(急)－451			7	大村－(急)－471
		5	大村－(急)－451－2	土 石 流	1	大村－(土)－ 55	
		6	大村－(急)－452		2	大村－(土)－ 56	
		7	大村－(急)－453	田 下 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－474
		8	大村－(急)－454			2	大村－(急)－474－2
		9	大村－(急)－455			3	大村－(急)－475
		10	大村－(急)－455－2			4	大村－(急)－476
		11	大村－(急)－456			5	大村－(急)－477
		12	大村－(急)－457			6	大村－(急)－478

(5) 令和元年7月5日指定

*網掛け：警戒区域のみ

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号		急傾斜地の崩壊	1 か所
玖 島 1 丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－50－2	合計	地すべり	3 か所
大里町	地すべり	1	大村－(地)－1			
西 部 町	地すべり	1	大村－(地)－2			
	地すべり	2	大村－(地)－3			

(6) 令和元年8月2日指定

*網掛け：警戒区域のみ

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	合計	急傾斜地の崩壊	4 か所
武 部 町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－28－2			
	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－35			
久 原 2 丁目	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－57			
溝陸町	急傾斜地の崩壊	1	大村－(急)－342－2			

(7) 令和2年1月21日指定

*網掛け：警戒区域のみ

地 区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号	地区	自然現象の種類	数	箇 所 番 号
野岳町	地すべり	1	大村－(地)－11	陰平町	地すべり	2	大村－(地)－21
野田町	地すべり	1	大村－(地)－12		地すべり	3	大村－(地)－22
池 田 2 丁目	地すべり	1	大村－(地)－13	西部町	地すべり	1	大村－(地)－23
黒 木 町	地すべり	1	大村－(地)－14	日泊町	地すべり	1	大村－(地)－24
	地すべり	2	大村－(地)－15		地すべり	2	大村－(地)－25
	地すべり	3	大村－(地)－16	中里町	地すべり	1	大村－(地)－26
	地すべり	4	大村－(地)－17	今村町	地すべり	1	大村－(地)－27
大里町	地すべり	1	大村－(地)－19				
陰平町	地すべり	1	大村－(地)－20	合 計	地すべり		1 6 か所

2 山腹崩壊危険地区一覧表

危険地区 番号		位置			危険地区の危険度	山腹崩壊危険度	被災危険度	備考
市町村	地区	市町村	町名	地区名				
205	1	大村市	黒木町	攻ノ木場	B	b1	b2	
205	2	大村市	黒木町	上椿谷	B	a1	c2	
205	3	大村市	黒木町	六郎木	B	a1	c2	
205	4	大村市	黒木町	岩屋口	B	a1	c2	
205	5	大村市	黒木町	岩屋	A	a1	b2	
205	6	大村市	黒木町	笹の本	A	a1	a2	
205	7	大村市	黒木町	板ノ川内	B	a1	c2	
205	8	大村市	黒木町	炭小屋	B	a1	c2	
205	9	大村市	黒木町	檜木原	A	a1	a2	
205	10	大村市	黒木町	小岳	C	b1	c2	
205	11	大村市	宮代町	山添(1)	A	a1	a2	
205	12	大村市	宮代町	廣谷	A	a1	b2	
205	13	大村市	宮代町	吉丸	A	a1	a2	
205	14	大村市	宮代町	古田	B	b1	b2	
205	15	大村市	田下町	戸井ノ山	B	b1	b2	
205	16	大村市	中岳町	中岳	A	a1	a2	
205	17	大村市	中岳町	堂ノ本	B	a1	c2	
205	18	大村市	中岳町	横畑	A	a1	a2	
205	19	大村市	中岳町	平原	A	a1	a2	
205	20	大村市	黒木町	黒木原	C	c1	c2	
205	21	大村市	原町	横尾	A	b1	a2	
205	22	大村市	原町	似田	A	a1	a2	
205	23	大村市	上諏訪町	権現山	B	a1	c2	
205	24	大村市	原町	井手ノ平	A	b1	a2	
205	25	大村市	原町	桐ヶ谷	C	b1	c2	
205	26	大村市	東大村二丁目	長岡	B	a1	c2	
205	27	大村市	小川内町	西小川内	C	c1	c2	

危険地区 番号		位置			危険地区の危険度	山腹崩壊危険度	被災危険度	備考
市町村	地区	市町村	町名	地区名				
205	28	大村市	小川内町	古園	A	a1	a2	
205	29	大村市	小川内町	水無	C	c1	c2	
205	30	大村市	小川内町	東上小川内 2	C	c1	c2	
205	31	大村市	小川内町	東上小川内 3	A	a1	b2	
205	32	大村市	小川内町	東中小川内	C	b1	c2	
205	33	大村市	小川内町	平	B	c1	a2	
205	34	大村市	小川内町	矢樋 1	B	a1	c2	
205	35	大村市	小川内町	横山 2	B	b1	b2	
205	36	大村市	西部町	舟津平	A	a1	a2	
205	37	大村市	陰平町	西明	A	a1	a2	
205	38	大村市	大里町	平田	C	c1	c2	
205	39	大村市	大里町	ウナツ	A	b1	a2	
205	40	大村市	日泊町	影平	C	c1	c2	
205	41	大村市	今村町	迫ノ山	B	c1	a2	
205	42	大村市	中岳町	中岳	B	a1	c2	
205	43	大村市	東大村二丁目	新井平	A	b1	a2	
205	44	大村市	原町	石割場	A	a1	a2	
205	45	大村市	小川内町	西光寺	C	c1	b2	
205	46	大村市	溝陸町	溝陸	A	a1	a2	
205	47	大村市	荒瀬町	溝陸	A	a1	a2	

3 崩壊土砂流出危険地区一覧表

危険地区 番号		位置			危険地区の危険	崩壊土砂危険度	被災危険度	備考
市町村	地区	市町村	町名	地区名				
205	1	大村市	武留路町	才貫田	C	c1	c2	
205	2	大村市	武留路町 他	餅の浜	A	a1	b2	
205	3	大村市	黒木町	山犬谷	B	a1	c2	
205	4	大村市	黒木町	岩屋	A	a1	a2	
205	5	大村市	黒木町	ハツ久保	A	a1	b2	
205	6	大村市	立福寺町 他	裏見の滝	B	a1	c2	
205	7	大村市	野田町	赤似田	B	b1	b2	
205	8	大村市	宮代町	菅無田	A	a1	a2	
205	9	大村市	中岳町	五太郎	A	a1	a2	
205	10	大村市	中岳町	開田	A	a1	a2	
205	11	大村市	中岳町	南川内 3	B	a1	c2	
205	12	大村市	黒木町	小川内	A	a1	a2	
205	13	大村市	原町 他	荒瀬	A	a1	a2	
205	14	大村市	東大村二丁目	長岡	C	b1	c2	
205	15	大村市	東大村一丁目他	針尾	C	c1	c2	
205	16	大村市	小川町	横山	B	c1	a2	
205	17	大村市	西部町	舟津	A	b1	a2	
205	18	大村市	日泊町 他	蔦川内	C	b1	c2	
205	19	大村市	大里町 他	内倉	B	c1	a2	
205	20	大村市	中里町 他	日焼	A	b1	a2	
205	21	大村市	今村町他	水頭	A	b1	a2	
205	22	大村市	日泊町 他	日泊	A	b1	a2	
205	23	大村市	重井田町	重井田	A	b1	a2	
205	24	大村市	中岳町	水洗	B	c1	a2	
205	25	大村市	黒木町	本谷	B	a1	c2	

205	26	大村市	黒木町	椿谷 1	A	a1	b2	
危険地区 番号		位置			危険地区の危険度	崩壊土砂危険度	被災危険度	備考
		市町村	町名	地区名				
205	27	大村市	黒木町	椿谷 2	A	a1	b2	
205	28	大村市	黒木町	上椿谷	C	b1	c2	
205	29	大村市	中岳町	楓佐古	B	b1	b2	
205	30	大村市	黒木町	袈裟石 1	C	c1	c2	
205	31	大村市	黒木町	袈裟石 3	B	b1	b2	
205	32	大村市	黒木町	板川内	A	a1	b2	
205	33	大村市	黒木町	炭小屋	B	b1	b2	
205	34	大村市	黒木町	檜木原	A	a1	a2	
205	35	大村市	黒木町	大払	A	a1	a2	
205	36	大村市	中岳町	久良原	B	c1	a2	
205	37	大村市	中岳町	中岳	A	a1	a2	
205	38	大村市	中岳町	南川内	B	b1	b2	
205	39	大村市	上諏訪町	上諏訪	C	c1	c2	
205	40	大村市	東大村二丁目	諏訪	C	c1	c2	
205	41	大村市	中岳町	久原	A	a1	a2	
205	42	大村市	中岳町	川久保	A	a1	a2	
205	43	大村市	東大村一丁目	中辻	A	b1	a2	
205	44	大村市	日泊町	日泊	B	c1	a2	
205	45	大村市	重井田町	大谷	B	c1	a2	
205	46	大村市	宮代町	宮代	B	b1	b2	
205	47	大村市	田下町	田下	A	b1	a2	
205	48	大村市	陰平町	陰平	A	b1	a2	

4 山地災害危険地現地表示一覧（国有林内：長崎森林管理署管内）

市 名	地 区 名	危険地区番号	危 険 地 区 種 類
大村市 黒木町	萱瀬（１）	２０５－ １	山 腹 崩 壊
	萱瀬（２）	２０５－ ２	
	北 川 内	２０５－ ３	
大村市 黒木町	黒木（１）	２０５－ １	崩壊土砂流出
	大 弘	２０５－ ２	
	黒木（２）	２０５－ ３	
	北川内（１）	２０５－ ４	
	北川内（２）	２０５－ ５	
	北川内（３）	２０５－ ６	
	北川内（４）	２０５－ ７	
	北川内（５）	２０５－ ８	
大村市 重井田町	重 井 田	２０５－ ９	
	松 原	２０５－ １０	

5 地すべり崩壊危険箇所

番号	河 川 名			位 置	地すべり危険箇所			地形・地質		区 域 内 の 保 全 地 策
	箇所名	水系名	幹 川 名		幅	長 さ	面 積 (ha)	勾配 (度)	基盤岩	
18-1	松 外		変 配 川	北木場川	369.5	770.5	25.54	8	玄武岩	県道 740m、市道 360m
18-2	平 原	郡 川	佐奈河内川	野 田 川	229.0	291.5	8.06	11	玄武岩	市道 790m
18-3	鼓 石	大上戸川	藤 ノ 川	池田 2 丁目	451.0	435.9	19.65	7		高速道 480m、市道 740m
18-4	弥左衛門木場		北ノ川内川	倉 谷 川	434.5	229.5	17.36	14		公民館 1、橋 1、国道 1、140m、市道 929m
18-5	中 村	郡 川	北ノ川内川	黒 木 町	142.0	271.5	6.05	15	集塊岩	橋 1、市道 435m
18-6	中 野		岩 屋 川	岩 屋 川	254.5	205.0	9.40	14		橋 1、市道 916m
18-7	板ノ川内口		樫木原川	樫木原川	247.5	536.5	11.51	15		橋 1、市道 317m
18-8	内 倉 1			大 里 町	225.0 412.4	149.0 143.0	12.16	9	玄武岩	市道 740m
18-9	田ノ原道下	鈴 田 川	内 倉 川	大 里 町	393.0	356.5	17.39	12	泥 岩	駐在所 1、橋 4、JR510m、国道 800m 高速道 570m、市道 1、470m
18-10	田 久 保			浦川内川	548.5	1,324.0	69.63	16		公民館 2、消防庫 1、J R 200m 市道 630m
18-11	久 郎			久 郎 川	554.5	554.5	28.88	14		県道 470m
18-12	釜 平			釜川内川	440.0	237.5	8.96	12		公民館 1、県道 140m、市道 130m
18-13	曾 根 平			田 尻 川	1,232.0	859.0	66.60	8		公民館 1、県道 1,290m
18-14	釘 の 頭			釘の頭川	715.0	633.0	33.22	10		公民館 1、県道 830m、市道 620m
18-15	山 境			山 境 川	335.0	440.5	15.50	13	砂 岩	公民館 1、橋 1、県道 290m、市道 540m
18-16	内 倉 2	鈴 田 川	日 焼 川 内 倉 川	中 里 町	1,232.0	859.0	69.69	10		公民館 1、橋 2、市道 560m
18-17	迫 の 山	今 村 川	今 村 川	今 村 町	161.0	256.0	4.11	16		橋 1、高速道 170m、市道 370m

番号	河 川 名				位 置	地すべり危険箇所			地形・地質		区 域 内 の 保 全 地 策	
	箇所名	水系名	幹 川 名	溪 流 名		幅	長さ	面 積 (ha)	勾配 (度)	基盤岩	人家戸数 (戸)	公共施設の種類及び数量
-1	摺手石	今村川	今村川		今 村 町	556.0	621.0	26.20	11	砂 岩		公民館1、市道790m
-2	柳 谷			鷲川内川	西 部 町	343.0	767.0	16.50	16	風化岩		県道280m
-3	堀 外	今村川	今村川		今 村 町	245.0	344.0	6.40	11	砂 岩		橋 1
-4	久 保 田			久保田川	溝 陸 町	250.0	100.0	4.40	16			農道300m
合 計	21か所											

急傾斜地崩壊危険箇所及び整備箇所

番 号	箇所名	町 名	長 さ	地 形		人 家	公 共 的 建 物	公 共 施 設	急傾斜地崩壊 危険区域の指定	面 積 (ha)	整 状	備 考
				傾斜度	高さ							
I-1926 3-2-1	園 田	溝 陸 町	150	40	5	5			S 63.1. 8	0.180	一 部	
II-7039	釜川内	陰 平 町	135	42	8	5		県道 20m、市道 60m	H18. 9. 22	0.28	整備済	
I-1928 3-2-3	小川内	小 川 内 町	120	38	20	11		市道 170m、河川 40	H15. 2. 4	1.06	整備済	
I-1929 3-2-4	西光寺	小 川 内 町	135	40	30	6		市道 200m、河川 90m 橋 1			未 済	
I-1930 3-2-5	東浦(1)	久原 1 丁目	130	34	16	12		市道 180m			未 済	
I-1931 3-2-6	東浦(2)	久原 1 丁目	415	39	16	45	公民館 1、寺院 1	市道 210m	S 51.12.10 S 58.2.22 H 2.7.13	0.880 0.970 0.072	整備済	東浦第一 東浦第二 " 第二追加
I-1932 3-2-7	片 町	片 町	225	60	12	16	公民館 1、神社 1 病院 1	市道 140m、JR10	H1.6.16	0.650	整備済	
I-1933 3-2-8	三 城	三 城 町	40	42	10	2	神社 1	市道 10m			未 済	
I-1934 3-2-9	岩 下	荒 瀬 町	140	42	40	1	寺院 1、神社 1	国道 105m			未 済	
I-1935 3-2-10	石 場	原 町	715	42	60	9	高压塔	国道 250m			未 済	
I-1936 3-2-11	山 添	宮 代 町	710	36	76	16	集落センター 1	市道 590m	H18.3.17	1.63	整備済	
I-1937 3-2-12	岸 道	荒 瀬 町	400	35	44	11		市道 330m	H4.12.8	4.400	整備済	
I-1938 3-2-13	荒 川	久原 2 丁目	180	30	24	4		市道 110m			未 済	人工斜面

番 号	箇所名	町 名	長 さ	地 形		人 家	公 共 的 建 物	公 共 施 設	急傾斜地崩壊 危険区域の指定	面 積 (ha)	整 備 状 況	備 考
				傾斜度	高さ							
I-1939 3-2-14	美野神上	日 泊 町	50	48	8	0	小学校 1				未 済	人工斜面
I-4858 3-2-15	久 原	久原 2 丁目	45	51	5	6		市道 110m	S 61. 1. 10	0. 070	整備済	
I-5096 3-2-16	武 部	武 部 町	70	63	7	7		市道 195m	H 6. 10. 28	0. 100	整備済	
	本小路	玖島 1 丁目	50	70	5	5			H 9. 3. 21	0. 040	整備済	
I-5794 3-2-24	開 田	中 岳 町	215	37	90	10		市道 215m	H 15. 2. 4	0. 520	整備済	
I-5795 3-2-25	開田(2)		190	75	5. 8	5		市道 190m	H 14. 2. 8	0. 240	整備済	
I-5189 3-2-17	白鳥前	岩 松 町	125	40	10	10		河川 150m			未 済	
	前舟津	久原 1 丁目	45	55	5	5					未 済	個人で大 部分整備
I-5797 3-2-27	武部(2)	武 部 町	29	60	6	9	十八銀行社員寮		H 30. 1. 12	0. 040	整備済	
II-6965	下針尾	岩 松 町	120	36	10	6		市道 70m			未 済	
II-6960	島	溝 陸 町	285	47	14	4		市道 100m			未 済	
II-6961	才ノ浦		145	34	12	3		県道			未 済	
II-6962	先綱代		150	39	22	4		県道			未 済	
II-6963	俵 崎	日 泊 町	130	36	16	4		市道 100m			未 済	
II-6963	平 田	大 里 町	210	31	62	4		市道 170m			整備済	地すべり指定 区域内 H 2 災 害緊急地すべ り事業(県)

番 号	箇所名	町 名	長 さ	地 形		人 家	公 共 的 建 物	公 共 施 設	急傾斜地崩壊 危険区域の指定	面 積 (ha)	整 備 状 況	備 考
				傾斜度	高さ							
I-5678 3-2-19	草場小路	玖島2丁目	90	39	10	15		市道180m	H16.3.25	0.37	整備済	
I-5792 3-2-22	才又	田下町	120	40	32	6		河川200m、橋1基	H18.9.22	0.17	整備済	
III-9574	下小川内	小川内町	135	35	20	21		市道190m、橋1基 河川210m	H18.8.1	1.38	整備済	
	三城(3)	三城町	65	68	19	6		市道80m	H19.12.18	0.12	整備済	
	園田(2)	溝陸町	55	45	7	5		市道190m	H23.8.26	0.05	整備済	
	深山	福重町	50	51	10	1	保育園 1				未 済	
	徳泉川内 (11)	徳泉川内町	97	40	15	11		市道101m、25m	H29.8.22	0.25	整備済	
合 計	35か所								18か所	13.472		

7 土石流危険渓流（人家3戸以上）

番号	河川名			溪流位置	流域面積 (ha)	土石流 災害年	人家戸数 (戸)	保全施設等		砂防 指定地	備考
	水系名	河川名	溪流名					公共施設等	耕地面積		
2-42-1	郡川	平石川	平石川	宮代町	64.8		3	市道70m、農道155m、道230m	2.01		
2-42-2		店川	店川	黒木町	52.1	32	12	小学校、県道120m、市道70m 道20m	0.36	有	告示第1463号 S47.3.29
2-42-3		以良椎川	以良椎川		2.5		3	小学校、県道100m	0.44		
2-42-4		榎木原川	イ 榎木原川		33.8	32	7	県道140m、道150m	1.95	有	告示第1596号 S41.5.26
2-42-5		小川内川	小川内川		12.5		6	農道50m、道10m	0.36	有	告示第1047号 S41.8.30
2-42-6		五太郎川	五太郎川		32.3	32	5	公民館、林道85m、道385m	1.17		
2-42-7		宮ノ本川	宮ノ本川		6.8	32	3	農道35m、道65m	0.24		
2-42-8		下長瀬川	下長瀬川	田下町	32.8		4	市道20m、農道110m、道255m	0.50		
2-45-1	鈴田川	西明園川	西明園川	陰平町	6.2		10	市道135m、農道170m、道10m	1.56		
1	郡川	佐奈河内川	油出川	立福寺町	6.4		3	市道70m、農道200m	1.30		
2		郡川	山口川	原町	75.1	32	3	国道100m、道85m	0.53		
3			氷川脇川	田下町	5.1		4	農道25m、道90m	0.68		
4			段畑川	中岳町	17.8		3	市道15m、農道40m、道100m	0.20	有	告示第2048号 S63.10.21
5		南川内川	杉谷川		23.0			市道200m、農道20m	0.13	有	告示第1047号 S41.8.30
6			川久保川		6.9		5	国道50m	0.50		
7			堂園川		18.6		3	農道40m	0.37		
8		郡川	久良原川		116.3		4	国道90m、市道40m	0.80	有	告示第1812号 S43.6.29
9			日向川		12.4	32	3	市道100m、農道80m	0.99		
10			堂ノ本川		5.8		3	国道110m	1.58		

番 号	河 川 名			流 域 面 積 (ha)	土 石 流 災 害 年	人 家 戸 数 (戸)	保 全 対 象		砂 防 指 定 地	備 考
	水 系 名	河 川 名	溪 流 名				公 共 施 設 等	耕 地 面 積		
1 1	郡 川	切 詰 川	イ 切 詰 川	3 . 8		3	農道 210m	0 . 3 8	有	告示第 198 号 S43. 2. 16
1 2			ロ 切 詰 川	3 4 . 8	3 2	7	国道 200m、農道 305m	2 . 4 2	有	告示第 198 号 S43. 2. 16
1 3		北 川 内 川	倉 谷 川	7 2 . 8	3 2 4 5	3	市道 20m	0	有	告示第 2687 号 S39. 9. 17
1 4			興七木場川	8 . 7		3	市道 100m	0 . 2 7		
1 5			攻ノ川内川	3 7 . 8	3 2 5 1	3	市道 100m、道 80m	1 . 1 5	有	告示第 2613 号 S38. 10. 14
1 6		板ノ川内川	北 川 内 川	7 6 . 7	3 2 5 1	3	県道 60m、市道 60m	0 . 0 9	有	告示第 711 号 S42. 3. 22
1 7			板ノ川内川	1 7 . 6		5	県道 110m、市道 290m、農道 40m	2 . 6 5	有	告示第 604 号 S47. 3. 29
1 8			板ノ川内川	8 4 . 7	3 2 5 1	4	県道 110m、市道 290m	3 . 0 9	有	告示第 604 号 S47. 3. 29
1 9		ハツ久保川	ハツ久保川	9 . 7	3 2 5 1		県道 160m、市道 200m、農道 90m	2 . 2 0	有	
2 0		郡 川	ロ 榎木原川	4 . 1		3	市道 30m	0 . 2 5	有	
2 1			ハ 榎木原川	5 . 9		3	市道 30m	0 . 0 6	有	
2 2	鈴 田 川	鈴 田 川	似 田 川	1 0 . 7		6	市道 30m、河川 30m	0 . 9 4		
2 3		内 倉 川	内 倉 川	2 . 3		4	市道 65m、農道 50m	0 . 5 4		
2 4		鈴 田 川	平 山 川	6 . 7		4	公民館、市道 160m、農道 70m			

番 号	河 川 名			流 域 面 積 (ha)	土 石 流 災 害 年	人 家 戸 数 (戸)	保 全 対 象		砂 防 指 定 地	備 考
	水 系 名	河 川 名	溪 流 名				公 共 施 設 等	耕地面積		
25		餅ノ浜川	武留路川	5.6		8	市道25m、農道10m	0.67	有	告示第946号 S5.3.25
26		変配川	北木場川	40.0		6	農道95m	1.35		
27		弥勒寺川	清水川	19.3		12	県道150m、市道215m、農道15m	3.33		
28			東川内川	16.5		7	郵便局、市道105m、農道155m	0.84		
29			山境川	17.5		3	県道110m、市道10m、農道155m	2.09		
30	郡川	郡川	黒木町	0.48					有	告示第1047号 S25.9.15
31	大上戸川	長岡川	雄ヶ原町	7.25					有	告示第275号 S25.9.15
合 計	40か所									

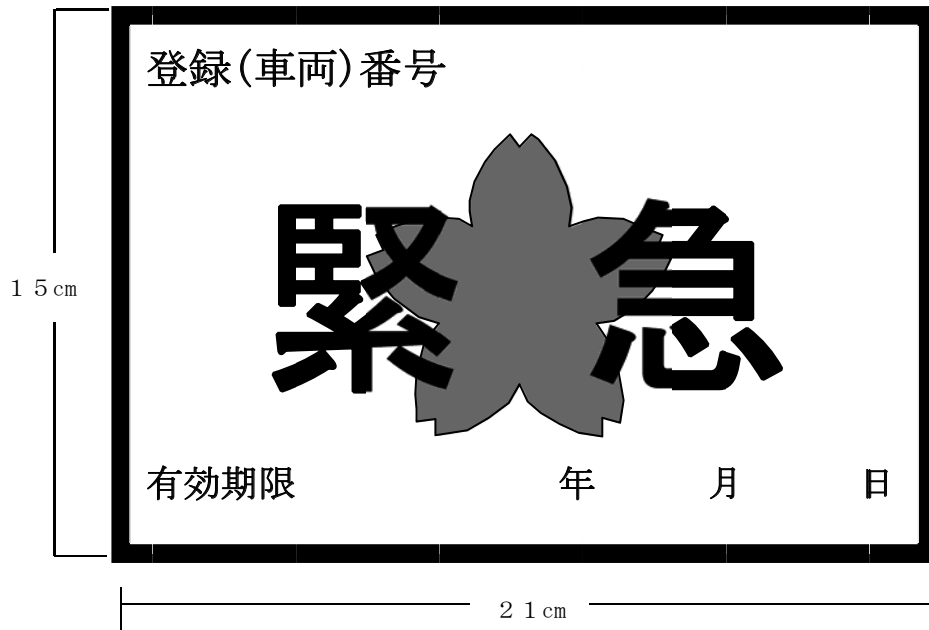
8 水防に係る河川・海岸区域

番号	水 防 管 理 団体名	水系名 又 は 沿岸名	河 川 名 又 は 海 岸 名		重 要 水 防 区 域		予 想 される 事 態	対 策 水 防 工 法	予想される 被 害 状 況 A 家屋 戸 B 耕地 ha C 道路 m D 鉄道 m	
					区 域	延長(m)				
1	大村市	郡 川	郡 川	右	黒木町～海	15,938	溢 水	積 土 俵 工	A 1,560 B 215 C 4,000 D 1,000	
				左	黒木町～海	15,938				
2			佐奈 河内川	右	立福寺町 ～ 郡川合流点	2,924	決 壊		A 30 B 150 C 2,800	
				左	野田町 ～ 郡川合流点	2,924				
3			南河内川	右	中岳町 ～ 郡川合流点	2,228	溢 水		A 10 B 5 C 500	
				左	中岳町 ～ 郡川合流点	2,228				
4		大上戸川	大上戸川	右	上諏訪町～海	3,555	溢 水		A 1,500 B 15 C 6,000 D 300	
				左	上諏訪町～海	3,555				
5			藤の川	右	池田新町 ～ 乾馬場町	1,196	決 壊		A 400 B 2 C 400	
				左	上諏訪 ～ 諏訪1丁目	1,196				
6		内田川	内田川	右	水計町～海	2,583	溢 水		A 2,500 B 1 C 2,850 D 300	
				左	徳泉川内町～海	2,583				
7		鈴田川	鈴田川	右	平町 ～ 鈴田橋	5,770	溢 水 決 壊		A 100 B 20 C 2,500 D 400	
				左	平町 ～ 鈴田橋	5,770				
8			針尾川	右	向木場町 ～ 鈴田川合流点	2,122			溢 水	A 20 B 10 C 800 D 200
				左	向木場町 ～ 鈴田川合流点	2,122				
9			稲河内川	右	岩松町 ～ 鈴田川合流点	2,259			溢 水	A 20 B 5 C 500 D 200
				左	岩松町 ～ 鈴田川合流点	2,259				

番 号	水 防 管 理 団 体 名	水系名 又 は 沿岸名	河 川 名 又 は 海 岸 名		重 要 水 防 区 域		予 想 さ れ る 事 態	対 策 水 防 工 法	予 想 さ れ る 被 害 状 況 A 家屋 戸 B 耕地 ha C 道路 m D 鉄道 m
					区 域	延長(m)			
10	大村市	鈴田川	小川内川	右	小川内町 ～ 鈴田川合流点	2,955	溢 水 決 壊	積 土	A 20 B 10 C 800 D 0
				左	小川内町 ～ 鈴田川合流点	2,955			
11		東大川	今村川	右	今村町 ～ 東大川合流点	3,159			A 20 B 20 C 450
				左	〃	3,159			
12		よし川	よし川	右	弥勒寺町～海	1,895			A 100 B 30 C 2,000 D 900
				左	皆同町 ～海	1,895			
13		大上戸川	長岡川	右	東大村2丁目 ～ 上諏訪町	2,460			A B C
				左	東大村2丁目 ～ 東大村2丁目	2,460			
14			城ノ尾川	右	東大村2丁目 ～ 上諏訪町	2,340			A B C
				左	〃	2,340			
15		大村湾	陰 平		陰 平 町	400	決 壊 浸 水	俵 工	A B 36 C 750
16			溝 陸		溝 陸 町	3,000			A 30 B 20 C 3,400
17			福 重		寿 古 町	700			A 100 B 50 C 6,000 D 1,000
18			竹 松		黒 丸 町	1,300			A 50 B 30 C 6,000
19			三浦船津		西 部 町	950			A 16 B 3 C 250
20			大 村 港		西 本 町	140	溢 水 浸 水		A 11 C 102

X I 様 式 類

1 標章（災対法施行規則第 6 条別記様式第 3）



- 備考 1 色彩は、記号を黄色、緑色及び「緊急」の文字を赤色、「登録（車両）番号」、「有効期限」、「年」、「月」及び「日」の文字を黒色、登録（車両）番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

2 緊急通行車両確認証明書（災対法施行規則第6条別記様式第4）

第 号		年 月 日	
緊急通行車両確認証明書			
		長 崎 県 知 事	印
		長崎県公安委員会	印
番号標に表示されている番号			
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）			
使用者	住 所	() 局 番	
	氏 名		
通 行 日 時			
通 行 経 路		出 発 地	目 的 地
備 考			

3 政府所有主要穀物受領証

政府所有主要穀物受領証

1 種類

2 数量

3 代金

用途 (価格) 区分	種別	産年	産地 品種	包装	量目	等級	数量(キロ数)	単価	金額	備考
計										
消費税及び 地方消費税 の相当額										
合計										

内 訳

4 現品受渡場所

5 現品受渡日 令和 年 月 日

6 代金納付場所 日本銀行本店、支店又は代理店（歳入代理店含む。）

7 代金納付期限 令和 年 月 日

8 買受目的

災害発生により応急食糧として上記の通り確かに受領しました。

年 月 日

受託事業体 殿

大村市長

氏 名

印

4 義援金品受領書

義 援 金 品 受 領 書		NO. _____				
金 _____						
<table border="1"><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr></table>						
以上のとおり受領いたしました。 ご好意に厚くお礼申し上げます。						
		年 月 日				
殿						
大村市災害対策本部長 大村市長		印				

5 罹災証明

(1) 依頼書

罹 災 証 明 申 請 書 大村市長 様 年 月 日				
申請者 (所有者・世帯主)	住 所		電話番号	
	現在の連絡先(避難先住所など)		連絡のつく電話番号	
	(ふりがな) 氏 名		生年月日 年 月 日	
被災住家の 世帯構成員	氏 名	続柄	生年月日	備考
		世帯主	年 月 日	
			年 月 日	
			年 月 日	
窓口に 来られた方 (申請者と 同じ場合は 記入不要)	住 所		電話番号	
	(ふりがな) 氏 名		申請者との関係	
罹災原因	年 月 日の による			
被災住家※の 所在地 (申請者住所と 同じ場合は 記入不要)	大村市			
	被災住家の所有者 ☐ 申請者 ☐ 申請者以外(所有者氏名)			
※住家とは、現実には居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のことをいいます(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)。				
住家の被害	☐ 浸水被害 (☐ 床上 ☐ 床下) ☐ その他被害(以下に記入)			
写真による 被害区分の 判定※	☐ 希望する(必ず写真を添付)			
	☐ 希望しない(写真判定を希望しない場合でも可能な範囲で写真の添付をお願いします)			
※下記の場合には、現地調査を省略し、写真により被害区分を判定することが可能です。写真による判定を希望する場合は、「希望する」欄にチェックをしてください。				
・地震による被害を受けた住家の写真から「全壊」と判定できる場合 ・水害による被害を受けた住家の写真から浸水深が確認できる場合 ・申請者の合意に基づく自己判定方式による一部損壊の判定を行う場合 (「全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊、準半壊、準半壊に至らない(一部損壊)」の6つの被害区分のうち、「準半壊に至らない(一部損壊)」の判定となります)				
※添付された写真から被害の程度が判断できない場合には、必要に応じて現地調査を行うことがあります。				
写真による被害区分の判定を希望しない場合は、写真の添付は必須ではありません。				
※現地調査でも被害の程度が確認できない場合は、証明できないことがあります。				
年 月 日				

(2) 罹災証明書

大災証第 号

罹 災 証 明 書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏 名	続 柄	年 齢
		世帯主	

罹災原因	
------	--

被災住家※の 所在地	
住家※の被害の 程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☐ 準半壊に至らない (一部損壊)
浸水区分	

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

住家以外の被害	
---------	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

大村市長

印

6 被災者台帳

被災者台帳

整理番号 _____

住 所 又は 居 所	大村市					
氏 名	フリガナ		生 年 月 日	年 齢	性 別	男 女
連 絡 先	電話番号：（ ）		世 帯 構 成	□単独世帯 □複数世帯		
	携帯電話：			世帯主：		
被 害 の 状 況	住家被害	被害認定結果： 有 ・ 無 被害認定日： 年 月 日 ☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 一部損壊 ☐ 流失 ☐ 床上浸水 ☐ 床下浸水				
	人的被害	氏 名	続 柄	年 齢	死亡(死亡日)・負傷・疾病の状況	
	動産被害					
援 護 実 施 状 況	各種支援制度 ・災害弔慰金 ・見舞金 ・被災者生活再建支援金 ・義援金 等		支援制度申請日： 年 月 日 申 請 者： 被災者との関係： 支援区分： 支給日： 支給終了日：			
	税 の 減 免 ・地方税、保険料 等		減免実施の有無： ☐ 有 ☐ 無 減 免 の 対 象：			
	融 資 制 度		貸付金の種類： 貸付金の有無： ☐ 有 ☐ 無			
	給 付		給付の種類： 給付の有無： ☐ 有 ☐ 無			
	特 例 措 置 ・児童手当 等		特例措置の種類： 特例措置の有無：			
要配慮 者に係 わ る						

事 項				
り災証明の交付状況	☐ 有 ☐ 無 交付年月日：			
記載情報提供の同意	☐ 有 ☐ 無			
記載情報提供の有無	☐ 有 ☐ 無 提供年月日： 提 供 先：			
調 査	調 査 番 号	N o - 1 回 目	N o - 2 回 目	N o - 3 回 目
	調 査 日 時			
	調査担当者			
	災 害 種 類			
	調 査 結 果			
備 考				

7 非常通信様式

非 常 通 信 用 紙

受 取 人	電 話 番 内 線 番						
発 信 人	電 話 番 内 線 番						
	発信番号		発信日時	年	月	日	時 分
非常							

自局の通報取扱記録

取扱区分	受信人	受付局	中継局	着信局	受取人
伝送方法	無線	有線			使送 ()
	VHF UHF SHF	孤立	災害	防災	FAX
取扱機関及び開始、終了時刻					
		→	自 局	→	
自局名			取扱者		

8 避難者名簿

頭文字	
-----	--

避難者名簿

避難所名：
避難所内の位置：

1 避難所に避難している方

氏名 避難者氏名	続柄	性別	生年月日	年齢	現在の健康状態等（発熱・けが・病歴）		健康状態以外で心配なこと（介護・障がい等の状況）など	携帯電話番号	備考
							有（状態： 無		
							有（状態： 無		
							有（状態： 無		
							有（状態： 無		
							有（状態： 無		

2 離散家族（他の施設への避難、行方不明等記入）

氏名	続柄	性別	年齢	摘要	氏名	続柄	性別	年齢	摘要

3 安否情報の提供

☐ 親族・同居者への同意 ☐ 知人へ同意 ☐ 親族同居者知人以外へ同意 ☐ 同意しない

4 入・退所日（※避難所勤務員が記入）

入所日時	月	日	時	退所日時	月	日	時	退所先
------	---	---	---	------	---	---	---	-----

9 行方不明者リスト

行方不明者リスト

整理番号

No	届出月日	行方不明者				届出者		
		住 所	氏 名	年 齢	性 別	身 長 (cm)	体 重 (Kg)	着衣・特徴等
	月 日							
	月 日							
	月 日							
	月 日							
	月 日							
	月 日							
	月 日							
	月 日							
	月 日							
	月 日							

10 応急危険度判定結果

(1) 調査済（台紙の色：緑）

応 急 危 険 度 判 定 結 果				
調 査 済				
INSPECTED				
◆この建築物の被害程度は小さいと考えられます				
◆建築物は使用可能です				
建築物名称				
注記：				
整理番号				
判定日時	月	日	午前・午後	時現在
大村市災害対策本部			電話	53-5999

(2) 要注意（台紙の色：黄）

応 急 危 険 度 判 定 結 果

要 注 意

LIMITED ENTRY

◆この建築物に立ち入る場合は十分注意してください

◆応急的に補強する場合には専門家にご相談ください

建築物名称

注記：

整理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

大村市災害対策本部

電話 5 3 - 5 9 9 9

(3) 危 険 (台紙の色 : 赤)

応 急 危 険 度 判 定 結 果

危 険

UNSAFE

- ◆この建築物に立ち入ることは危険です
- ◆立ち入る場合は専門家に相談し、応急措置を行った後にしてください

建築物名称

注記 :

整理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

大村市災害対策本部 電話 5 3 - 5 9 9 9

1 1 災害診療記録

災害診療記録

☐ 項目は、☐ および必要記入項目です。

年 月 日

トリアージタグ&番号	* 該当項目に○を付す 赤 黄 緑 黒		番号	トリアージタグ記載者・場所・機関			
* 該当性別に○を付す							
メディカルID						M F	
フリガナ	* 氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載				男	保険者番号	
氏名					女	記号・番号	
生年月日 年齢	* 年齢不詳の場合は推定年齢 M T S H 年 月 日 () 歳				[携帯]電話番号		
住 所	自宅					* 該当項目に○を付す 健存 半壊 全壊	
	☐ 避難所1			☐ 知人宅 ☐ テント ☐ 車内 ☐ その他			
	☐ 避難所2			☐ 知人宅 ☐ テント ☐ 車内 ☐ その他			
職 業					連絡先(家族・知人・その他) 連絡先なし		
【禁忌事項等】							
☐ アレルギー							
☐ 禁忌食物							
【特記事項(常用薬等)】							
☐ 抗血小板薬 ()							
☐ 抗凝固薬 ☐ ワーファリン ()							
☐ 糖尿病治療薬 ☐ インスリン ☐ 経口薬							
☐ ステロイド ()							
☐ 抗てんかん薬 ()							
☐ その他 ()							
☐ 透析							
☐ 在宅酸素療法(HOT)							
☐ 災害時要援護者(☐ 高齢者 ☐ 障害者 ☐ 乳幼児 ☐ 妊婦 ☐ 日本語が不自由 ☐ その他())							
【フォローアップ】 ☐ 必要(次の該当項目に○を付す。身体的/精神的/社会的/その他)							
傷病名		開始	診察場所		所属・医師サイン		
		年 月 日					

年 月 日

M	
	F

初上映J-SPEED

☐ は、☒ および必要記入項目です。

* 該当性別に○を付す

メディカルID										M F						
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--

日時	所 見	前頁のJ- SPEED#3~# 26の該当コ ードを記載	処置・処方	・診療場所 ・所属 ・医師等サイン

☐ は、☒および必要記入項目です。

* 該当性別に○を付す

メディカルID									M F						
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--

日時	所 見	2頁のJ- SPEED#3~# 26の該当コー ドを記載	処置・処方	・診療場所 ・所属 ・医師等サイン

【転帰】 年 月 日

☐ 1帰宅

☐ 2転送(手段:

搬送機関:

搬送先:

年 月 日

☐ 3紹介先

☐ 4死亡(場所:

時刻:

確認者:

)

【災害と傷病との関連】

☐ 1有 (☐新規 / ☐悪化 / ☐慢性疾患増悪)

☐ 2無

☐ 3わからない

最終診療記録管理者

災害診療記録(外傷、初期評価)(表)

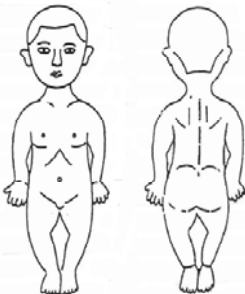
☐項目は、☒および必要記入項目です。

* 該当性別に○を付す

[illegible]

災害診療記録(緊急処置と外傷評価)(裏)

☐ 項目は、☒ および必要記入項目です。

メディカルID																			
A 気道の異常 ☐口腔内吸引 ☐エアウェイ ☐気管挿管 (挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml) ☐輪状甲状靱帯切開 (気切チューブ 内径 mm カフ ml) B・Cの異常 ☐酸素投与(L/分) ☐胸腔ドレナージ(☐右 ☐左 ☐両側 サイズ Fr 吸引圧 cmH2O) ☐気管挿管(挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml) ☐人工呼吸(F_IO₂ TV ml 換気回数 回/分 PEEP cmH2O) Cの異常 ☐圧迫止血 ☐細胞外液輸液 ☐心電図モニター ☐心嚢穿刺・切開ドレナージ ☐胸部X線撮影 ☐骨盤X線撮影 ☐骨盤シーツラッピング ☐TAE ☐外科的治療 ☐四肢の循環障害 Dの異常 ☐酸素投与(L/分) ☐気管挿管(挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml) ☐頭部CT検査 その他の処置 ☐末梢ルート①(G ☐右 ☐左 ☐上肢 ☐下肢) ②(G ☐右 ☐左 ☐上肢 ☐下肢) ☐NG チューブ(Fr cm固定) ☐尿道バルーンカテーテル Fr ☐動脈ライン(☐右 ☐左 ☐上肢 ☐下肢) ☐末梢血検査 ☐血液ガス分析 ☐創傷処置() ☐投与薬物()																			
受傷機転																			
傷病分類 ☐頭頸部(☐頭部外傷 ☐頸部外傷 ☐頸椎・頸髄損傷) ☐顔面(☐骨折 ☐眼損傷 ☐耳損傷 ☐鼻出血 ☐口腔損傷) ☐胸部(☐フレイルチェスト ☐肋骨骨折(☐多発) ☐血胸 ☐気胸) ☐腹部(☐腹腔内出血 ☐腹膜炎(☐腹部反跳痛 ☐筋性防御) ☐腎・尿路損傷(☐肉眼的血尿)) ☐四肢と骨盤(☐両側大腿骨骨折 ☐開放性骨折 ☐脱臼 ☐切断 ☐骨盤骨折(☐不安定型)) ☐体表(☐剥皮創 ☐穿通創 ☐挫創 ☐熱傷(☐Ⅱ度 ☐Ⅲ度 面積 % ☐気道熱傷有) ☐圧挫症候群 ☐胸・腰椎(髄)損傷 ☐低体温 ☐汚染(☐化学物質 ☐放射線) ☐その他の傷病名(身体所見) ()																			
必要な治療・処置 ☐外科的治療(☐緊急手術を要す、☐待機的手術を要す) ☐輸血 ☐動脈塞栓術(TAE) ☐創外固定 ☐直達牽引 ☐創傷処置 ☐除染(☐化学物質 ☐放射性物質) ☐破傷風トキソイド ☐抗破傷風免疫グロブリン ☐その他()																			
診断、特記事項等(自由記載)																			
																			

X II 県に対する報告・要請

1 災害概況即報

報告日時	年 月 日 時 分
市 町 名	
報告者名	

災害名 (第 報)

(市町→地方本部→県本部)

災害 の 概 況	発生場所				発生日時	月 日 時 分				
被害 の 状 況	死傷者	死 者	人	不明	人	住家	全壊	棟	一部損壊	棟
		負傷者	人	計	人		半壊	棟	床上浸水	棟
応 急 対 策 の 状 況					避 難 状 況					
					高齢者等避難・指示 自主の別	日 時	地区名	避難先	人員	

2 被害状況報告

被 害 状 況 報 告

(市町→地方本部)

市 町 村 名				月 日 時現在	月 日 時現在	月 日 時現在	月 日 時現在	月 日 時現在	月 日 時現在	月 日 時現在	
報 告 者 名				即速・確定	即速・確定	即速・確定	即速・確定	即速・確定	即速・確定	即速・確定	
区 分				被 害	被 害	被 害	被 害	被 害	被 害	被 害	
住 家 被 害	死 者	1	人								
	行 方 不 明 者	2	人								
	負 傷 者	重 傷	3	人							
		軽 傷	4	人							
	全 壊		5	棟							
			6	世帯							
			7	人							
			8	棟							
	半 壊		9	世帯							
			10	人							
			11	棟							
	一 部 破 損		12	世帯							
			13	人							
	床 上 浸 水		14	棟							
			15	世帯							
			16	人							
	床 下 浸 水		17	棟							
			18	世帯							
			19	人							
	計		20	千円							
非 住 宅	公 共 建 物	21	棟								
	そ の 他	22	棟								
そ の 他	田 冠	流 失 ・ 埋 没	23	h a							
		水	24	h a							
	畑 冠	流 失 ・ 埋 没	25	h a							
		水	26	h a							
	文 教 施 設		27	箇所							
			28	箇所							
	病 院		29	箇所							
			30	箇所							
	橋 梁		31	箇所							
			32	箇所							
	砂 防		33	箇所							
			34	箇所							
	崖 ぐ ず れ		35	箇所							
			36	箇所							
	鉄 道 不 通		37	隻							
			38	戸							
	水 道		39	回線							
			40	戸							
	電 気		41	戸							
			42	箇所							
り 災 世 帯 数	43	世帯									
り 災 者 数	44	人									
火 災 発 生	建 物	45	件								
	危 険 物	46	件								
そ の 他	47	件									
公 共 文 教 施 設	48	千円									
農 林 水 産 業 施 設	49	千円									
公 共 土 木 施 設	50	千円									
そ の 他 の 公 共 施 設	51	千円									
小 計	52	千円									
公共施設被害市町村数	53	団体									
そ の 他	農 業 被 害	54	千円								
	林 業 被 害	55	千円								
	畜 産 被 害	56	千円								
	水 産 被 害	57	千円								
	商 工 被 害	58	千円								
被 害 総 額	59	千円									
災 害 対 策 本 部		設 置		月 日 時 分							
災 害 救 助 法 適 用		解 散		月 日 時 分							
消 防 職 員 出 動 延 人 数				月 日 時 分							
消 防 団 員 出 動 延 人 数											

3 特殊重大災害速報

特殊重大災害速報						
1	報 告 日 時		年 月 日 時 分			
2	報 告 市 町	市 町 番地	①	TEL	()	
			②	担 当	送	
					受	
3	発 生 日 時					
4	発 生 場 所					
5	災 害 種 別					
6	概 況					
7	被 害 状 況	① 死 亡			⑥ 物 的 損 害	
		② 行方不明				
		③ 重 傷				
		④ 軽 傷				
		⑤ 合 計				
8	応 急 措 置	① これまでに とった措置				
		② 今後の見通 し				
		③ 応援の必要 性について				

4 水防顛末報告

作成 責任者

印

管 理 団 体 名	指定 無指定						報 告 年 月 日						
出 水 の 状 況							区 分						
水防実施箇所							所 要 経 費	人 件 費	手 当				
日 時	自 月 日 時 時間 至 月 日 時							費	そ の 他				
									計				
									資 材 費				
出 動 人 員	水防団員	消防団員	その他	計	人	人		人	人	器 材 費			
	人	人	人	人						燃 料 費			
										雑 費			
										計			
水 防 作 業 の 概況及び工法								合 計					
水 防 の 効 果	効 果	堤防	田	畑	家	鉄 道		道 路	使用 資 材	かます			
		m	町	町	戸	m	m	縄					
								丸 太					
	被 害							そ の 他					
他の団体から の 応 援 状 況								立退きの状況及びそ れを指示した理由					
居住者出動状況								水防功労者の年齢 及 び 功 績 概 要					
警察の応援状況								堤防その他の施設等 の異常の有無、異常 を生じたときはその 場所及び状況					
現 地 指 導 員 氏 名								水 防 活 動 に 関 す る 反 省 点					
水防関係者の死者								備 考					

*報告部数：3部

5 災害報告事務一覧

報告大別	報告事項	報告時期	報告内容	経由機関	県主管課
災害全般	総合被害報告	即報・中間 即報・確定	・災害の状況 ・被害の程度 ・応急措置の概況	県央振興局	防災企画課
消防	火災報告	即報・詳細	・災害の状況 ・被害の程度 ・消防機関の活動	〃	防災企画課
一般被害	災害救助法関係報告	速報	・人的被害 ・家屋被害 ・救助実施状況	直接	福祉保健課
防疫	被害状況報告	速報	・家屋被害 ・患者発生	県央保健所	医療政策課
防疫	防疫活動報告	日報 完了報告	・家屋被害 ・患者発生防疫活動 ・経費	〃	医療政策課
水道	水道施設被害報告 (被害・断減水 状況)	速報・確定	・水道関係施設	〃	水環境対策課
公共土木	都市施設被害報告 (下水道関係)	〃	・下水道関係施設	〃	〃
農林	農地農業用施設被害報告(農業集落 排水関係)	〃	・農業集落排水施設	〃	〃
環境	衛生施設被害報告 (浄化槽市設置分)	〃	・浄化槽(市設置分)	〃	〃
水産	水産業被害報告	速報 概況確定	・漁船・養殖施設	直接	漁業振興課
〃	〃	〃	・漁具・共同及び非共同 利用施設	〃	経営支援室
〃	〃	〃	・漁具・養殖施設 ・漁港・海岸・漁業用施設 ・共同利用施設	〃	漁港漁場課
農林	農業被害報告	〃	・農作物被害全般	県央振興局	農政課
〃	農地農業用施設被害報告	速報・確定	・農地農業用施設	〃	農村整備課
公共土木	海岸被害報告	〃	・海岸(農地海岸)	〃	〃
農林	畜産関係被害報告	速報 概況確定	・家畜 ・畜産物	〃	農政課
〃	林業関係被害報告	〃	・林地・林業施設 ・林産物・造林地・苗畑	〃	森林整備室

報告大別	報告事項	報告時期	報告内容	経由機関	県主管課
公共土木	林地・林業施設 被害報告	速報 概況確定	・地すべり防止施設 ・林地荒廃防止施設	県央振興局	森林整備室
都市施設	都市施設被害報告	確定	・街路・都市水利 ・防潮施設・公園緑地	〃	都市計画課
公共土木	国土交通省所管 公共土木施設 被害報告	速報・確定	・海岸・港湾施設 ・潮位・風速・雨量	〃	港湾課
〃	農林水産省所管 漁港施設被害報告	〃	・海岸・港湾施設 ・潮位・風速・雨量	〃	漁港漁場課
〃	国土交通省所管 公共土木施設 被害報告	〃	・河川・海岸・道路 ・橋梁・砂防設備	〃	河川課
住宅	公営住宅被害報告	確定	・公営住宅	〃	住宅課
公立学校	公立文教施設 被害報告	速報・確定	・小・中・高校施設	直接	教育庁教育 環境整備課

6 航空機災害派遣要請（県防災ヘリ）

(1) 口頭・複写の様式

救急活動に伴う航空機災害派遣要請

（口頭受理用紙）

受 理	月 時 分	市 町 名		担 当 者 名		電話（ ） （ ）－（ ） 内線（ ）		
患 者	住 所		氏 名		年 令	性 別	職 業	
	フリガナ		フリガナ			男 女		
患者が子供 の 場 合	父 母		年 令	職 業		続 柄		
患 者 の 状 況	病気発生日時		年 月 日 時 分					
	病気発生場所							
	フリガナ		感染症の有無					
	病気（事故）名		☐ 有 ☐ 無					
	病気発生状況並びに処置状況							
現地病院名					医 師 名			
収容病院名		（ ） 国立病院機構長崎医療センター			医 師 名			
搬送要請区間		空 港 （ ） ～ ヘリポート 長崎空港（旧大村）						
搭 乗 者		氏 名	年 令	搭 乗	付 添 者	続 柄	氏 名	年 令
	フリガナ			大 村			フリガナ	
	医 師			現 地				
	フリガナ			大 村			フリガナ	
	看護師			現 地				

(2) 文書様式

救急活動に伴う航空機災害派遣要請書

年 月 日

長崎県知事

様

大村市長

印

下記のとおり航空機の派遣を要請します。

受理		年 月 日 時 分									
患者	住 所		氏 名			年 令	性 別	職 業			
							男 女				
患者が子供の 場 合	父			年 令		職 業			続 柄		
	母										
患者 日 状 況	病気発生年月日		年 月 日 時 分								
	病気発生場所										
	病気（事故）名										
	病気発生状況 並びに 処 置 状 況										
現 地 病 院 名							医 師 名				
収 容 病 院 名							医 師 名				
搬 送 要 請 区 間			空 港 () ヘリポート 長崎空港 (旧大村)								
搭 乗 者			氏 名		年 令	付 添 者	続 柄	氏 名		年 令	
	医 師										
	看 護 師										

7 災害救助用穀物の引渡要請書

年 月 日

長崎県知事 殿

大村市長

氏名

印

災害救助用穀物の引渡要請書

穀物の買い入れ・販売等に関する基本要領（平成21年5月29日付21総食第113号総合食糧局長通知）第4章第10の1に基づき、以下のとおり要請します。

引渡希望数量（kg）	引 渡 場 所	引 渡 方 法	備 考

8 政府所有主要穀物引受報告書

年 月 日

長崎県知事 殿

大村市長
氏 名 印

政府所有主要穀物引受報告書

1 種 類
 2 数 量
 3 代 金

用 途 (価格) 区 分	種別	産年	産地 品種	包装	量目	等級	数量(キロ数)	単 価	金 額	備 考
計										
消費税及び 地方消費税 の相当額										
合 計										

内 訳

4 現品受渡場所
 5 現品受渡日 年 月 日
 6 代金納付場所 日本銀行本店、支店又は代理店（歳入代理店含む。）
 7 代金納付期限 年 月 日
 8 買 受 目 的

9 特殊重大災害発生時における災害派遣要請書

受理	月 日 時 分	市 町 名		担 当 者 名		TEL [] () ~ ()
	災 害（事 故） 発 生 日 時	年 月 日 時 分				
	災 害（事 故） 発 生 場 所					
	災 害（事 故） 名					
	派遣を要請する 事 由					
派遣を希望する期間						
派遣を要請する区域 及 び 活 動 内 容						

10 大規模災害時における長崎県医師会医療救護班派遣要請書

受理	月 日 時 分	市町名		担当者名		TEL FAX
災害 事 故 の 状 況	災害（事故） 発生日時	年 月 日 時 分				
	災害（事故） 発生場所					
	災害（事故）名					
	派遣を要請する 事由					
派遣を希望する期間		年 月 日（ ）から 年 月 日（ ）まで （ ）日間				
派遣を要請する場所						

XⅢ 各種協定一覧

	協 定 名	協 定 締 結 先	協定締結年月日
1	消防相互応援協定	佐賀県太良町	昭和41年 2月25日
2		佐賀県鹿島市	昭和41年 2月25日
3		佐世保市、東彼杵町、川棚町、 波佐見町	昭和41年 8月17日
4		諫早市	平成17年 3月 1日
5	海上自衛隊大村航空基地周辺において、自衛隊機又は米軍機による航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の関係機関の緊急連絡体制及び応急救助活動の分担区分等に関する協定	長崎空港事務所、佐世保海上保安部、長崎県、長崎県警、 県央地域広域市町村圏組合、 大村警察署、佐世保防衛施設事務所、陸自第16普通科連隊、 陸自第102高射特科隊、 海自第22航空群	昭和62年12月 1日
6	長崎県震度情報ネットワークシステムの設備の管理及び運用に関する協定	長崎県	平成 8年10月 1日
7	大村市多良山系レスキューネットワーク協議会	大村警察署、大村山岳会、 大村消防署、萱瀬地区町内会 スカイスポーツ長崎クラブ 大村市消防団、長崎営林署 大村森林事務所	平成10年11月12日
8	土砂災害防止及び山地災害防止に関する大村郵便局と長崎県諫早土木事務所、大村市との協力に係る協定	大村郵便局 長崎県諫早土木事務所 長崎県長崎林業事務所	平成14年 6月18日
9	県央振興局管内災害時防災相互応援協定	諫早市 諫早土木事務所	平成17年 3月 1日
10	災害時の応急対策に関する基本協定	大村電気工事業協同組合	平成20年 3月18日
11	災害時における物資の供給に関する協定	イオン九州株式会社	平成21年10月19日
12		九州カートン株式会社	平成26年 3月17日
13		株式会社ナフコ	令和 元年12月27日
14	災害時における緊急放送に関する協定	FMおおむら	平成22年 4月 1日
15		おおむらケーブルテレビ 株式会社	平成25年12月24日
16	大規模災害発生時における相互応援協定	千歳市、花巻市、名取市 岩沼市、伊丹市、霧島市	平成22年 9月24日
17	災害時における支援活動に関する協定	(一社)長崎県建設業協会 大村支部	平成29年 2月15日
18	大村市における大規模な災害時の応援に関する協定	国土交通省九州地方整備局	平成23年 9月30日

	協 定 名	協 定 締 結 先	協定締結年月日
19	九州新幹線西九州ルート沿線5市 災害応援協定	武雄市、嬉野市、諫早市 長崎市	平成23年11月20日
20	災害時要援護者登録情報提供協定	大村消防署、消防団、 大村市民生委員児童委員 協議会連合会 社会福祉法人大村市社会 福祉協議会	平成20年 9月 1日
21	災害時要援護者に関する情報提供 に関する協定	自主防災組織・町内会等 56組織	平成22年～平成30年
22	災害時におけるLPガス供給に関 する協定	一般社団法人長崎県LPガス 協会大村支部	平成25年 8月19日
23	福祉介護避難所開設・運営に関す る協定	福祉施設等29法人	平成30年 6月25日
24		福祉施設等12法人	平成26年 3月17日
25	全国さくらサミット加盟自治体の 災害時における相互応援に関する 協定	新ひだか町、柴田町 仙北市、富岡町、前橋市 幸手市、五泉市、本巣市 吉野町、雲南市、日南市 日立市	平成26年 4月17日
26	災害時における復旧及び機能保全 支援協力に関する協定	日本下水道管路管理業協会 (大村市上下水道局との間)	平成27年 1月16日
27	災害時における支援協力に関する 協定	大村市管工業協同組合 (大村市上下水道局との間)	平成27年 3月 5日
28	避難所施設利用に関する協定	大村高校、大村城南高校、 大村工業高校、大村特別支援 学校、県立ろう学校	平成27年 3月～4月
29		長崎県教育センター	令和 2年 3月24日
30	災害時における指定避難所（避難 場所）に関する協定	正法寺、浄土寺	平成27年 3月～4月
31		妙宣寺	平成29年10月23日
32		本経寺	令和 元年11月28日
33		富松神社	令和 4年 2月21日
34	避難所施設利用に関する協定	県立虹の原特別支援学校	平成28年 7月21日
35	災害時における大村市と大村市内 郵便局の協力に関する協定	大村市内郵便局 (代表 大村郵便局)	平成27年 8月 1日
36	大規模災害時における復興支援に 関する協定	長崎県土地家屋調査士会	平成28年 5月23日
37	災害時における飲料水の供給に関 する協定	九州教具株式会社	平成28年11月30日
		株式会社伊藤園	平成29年 3月15日
38	災害時の応援協力に関する協定	大村青年会議所 社会福祉協議会	平成29年 5月22日

	協 定 名	協 定 締 結 先	協定締結年月日
39	災害時における特設公衆電話の設置・利用に関する協定	西日本電信電話株式会社 長崎支店	平成29年 6月26日
40	災害時における無人航空機による協力に関する協定	株式会社 N B C ソシア	平成29年 8月31日
41	災害時における棺及び葬祭用品の供給等並びに遺体の搬送等の協力に関する協定	長崎葬祭業協同組合	平成29年 9月27日
42	災害等における薬剤師の派遣に関する協定	一般社団法人 大村東彼薬剤師会	平成30年 6月 4日
43	災害時等の歯科医療救護活動に関する協定	大村市東彼歯科医師会	平成30年 7月30日
44	災害時における無人航空機を利用した情報収集等に関する協定	株式会社 T S W	令和 元年12月26日
45	災害時における協力に関する協定	一般社団法人全日本冠婚葬祭 互助協会	令和 2年 1月31日
46	郡川水系（郡川・佐奈河内川）治水協定	長崎県県央振興局 大村市上下水道事業管理者 長崎市上下水道事業管理者	令和 2年 7月22日
47	災害時における物資提供に関する協定	生活協同組合ララクーブ	令和 2年10月21日
48	災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定	一般社団法人長崎県産業資源 循環協会	令和 2年11月19日
49	備蓄物資の提供に関する協定	株式会社 たらみ	令和 3年 1月15日
50	災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定	株式会社 バカン	令和 3年 3月29日
51	災害時における車両一時避難場所としての施設利用に関する協定及び保有機材等の提供に関する協定	株式会社 中央総合警備保障	令和 4年11月15日
52	災害時におけるムービングハウスの建設に関する協定	一般社団法人日本ムービング ハウス協会、株式会社 L T U、 幸運トラック株式会社	令和 5年 1月31日
53	災害時における指定避難所としての施設利用に関する協定	みうら勘作会	令和 5年 4月20日
54	災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定	株式会社 森谷商会	令和 5年 8月29日
55	災害時における相互協力に関する協定	九州ガス 株式会社	令和 5年10月10日

大村市地域防災計画 大村市水防計画

(令和6年修正)

編集・発行 大村市防災会議

事務局 大村市総務部安全対策課
大村市玖島1丁目25番地
電話(0957)53-4111
